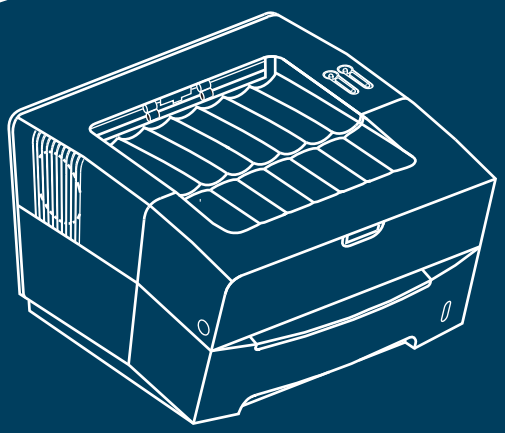
KYOCERA

使用説明書

▶ FS-920



目次

安全に正しくお使いいただくために ii
法律上のご注意 ii
本書中の注意表示について iii
注意ラベルについて iv
機械を設置する時のご注意 v
取り扱い上のご注意 vi
国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム x

使用説明書について xiii
付属マニュアルの紹介 xiv
本書の読みかた xiv

1 各部の名称 1-1
インジケータの表示と意味 1-2
キーの機能 1-2

2 用紙について 2-1
用紙の基本仕様 2-1
用紙の収容 2-2

3 接続と印刷 3-1
PC との接続 3-1
ソフトウェアのインストール 3-3
印刷のしかた 3-5
Macintosh へのプリンタドライバのインストール 3-8

4 日常のメンテナンス 4-1
トナーコンテナ 4-2

5 困ったときは 5-1
一般的な問題 5-1
印刷品質の問題 5-2
紙づまりの処置 5-2

6 仕様 6-1

付録 A オプション A-1
拡張メモリー（DIMM） A-1
メモリーカード（CF カード） A-1
プリントサーバ（IB-100） A-2

付録 B フォント B-1
内蔵フォント B-1

付録 C 環境設定コマンド C-1
環境設定コマンドの設定 C-1
インタフェース独立 FRPO パラメータ C-2
インタフェース共有 FRPO パラメータ C-4

安全に正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、まず最初にお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

- 法律上のご注意
- 本書中の注意表示について
- 注意ラベルについて
- 機械を設置する時のご注意
- 取り扱い上のご注意
- 国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム

法律上のご注意

本説明書の全部または一部を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法上での例外を除き禁じられています。

本書中の注意表示について

この使用説明書および本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

「注意一般」、「感電注意」、「高温注意」

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

「禁止一般」、「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

「強制一般」、「電源プラグをコンセントから抜け」、

「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。(有償)

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

注意ラベルについて

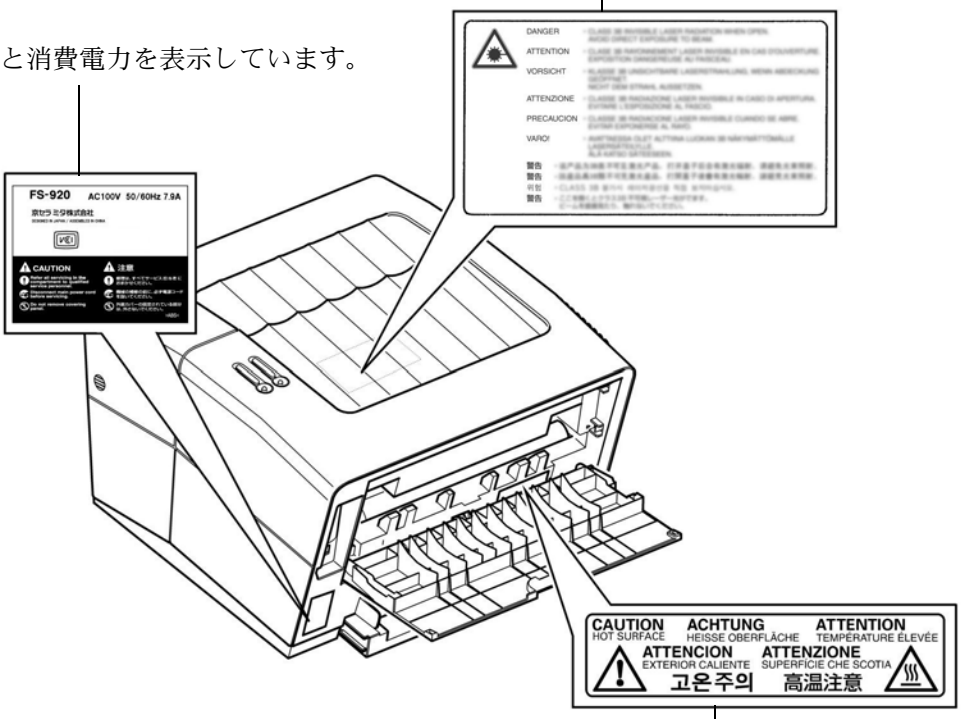
本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙づまり処置やトナー補給時に火傷や感電などの事故のないようご注意ください。

レーザ光に関する警告（本体内部）

本機内部の固定されているカバーは外さないでください。レーザ 光がもれるおそれがあります。内部の点検・調整・修理は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご依頼ください。

定格ラベル

一般的な注意と消費電力を表示しています。



高温注意

この部分は高温になっています。火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。

お願い：これらのラベルははがさないようにしてください。

機械を設置する時のご注意

設置環境について

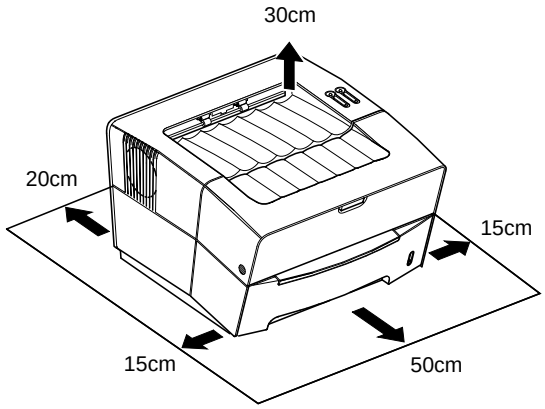
注意

本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。

本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。

本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に通気口は、壁などに近づけないでください。充分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。



その他の注意事項

本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温 23 ℃、湿度 50%RH が適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量に印刷をする場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をすることをお勧めいたします。

設置電源・アースについて

警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。



電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。



必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、弊社製品取り扱い店等にご相談ください。



その他の注意事項

電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

ビニールの取り扱いについて

警告

本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。



取り扱い上のご注意

機械の取り扱いについて

警告

本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。



本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。



本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電、レーザ光線への被爆のおそれがあります。レーザ光洩れによる失明のおそれがあります。



万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。



万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



内部の点検・修理は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。



注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。(必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください)



本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源スイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。



本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



本製品内部の清掃については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。本製品の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。



その他の注意事項

本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。

印刷中には次のことをしないでください。

- 本体のカバーを開ける。
- 電源スイッチを切る。
- 電源コードを抜く。

転居などで本製品を移動する場合は、弊社製品取り扱い店等へご連絡ください。

コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。

この使用説明書に記載されていないことは行わないでください。

ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

消耗品の取り扱いについて



トナーコンテナは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。



トナーコンテナは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。



トナーコンテナよりトナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにしてください。



- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。

トナーコンテナは、無理に開けたり壊したりしないでください。



その他の注意事項

京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しています。詳しくは、トナーキットに同梱されている**トナーコンテナ引き取り回収依頼書**または、京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。
http://www.kyoceramita.co.jp/support/

トナーコンテナは、直射日光の当たる場所や、急激な温度・湿度の変化がある場所を避けて、40 ℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットまたは手差しトレイから取り出し、もとの包装紙に戻して密封してください。

補修用性能部品について

弊社の保守サービスのために必要な補修用および消耗品の最低保有期間は、販売終了後 5 年間です。

本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた情報技術機器装置および周辺機器の高調波対策ガイドラインに適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本機は仕様の範囲内でご使用ください。保守契約を結ばれることをおすすめします。

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を最小にする「スリープモード」に移行する省エネ制御機能を備えています。

スリープモード

最後に使用してから約 5 分を経過すると、自動的に「スリープモード」に移行します。なおスリープモードへの移行時間は、付属の CD-ROM に収録されている KM-NET for Clients で 5 分から 240 分の間で変更可能です。詳しくは、KM-NET for Clients 操作手順書を参照してください。

手動両面印刷機能について

エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない両面印刷機能を推奨しています。本機は手動で用紙の両面に印刷できる機能を装備しております。例えば、片面原稿 2 ページを 1 枚の用紙両面に印刷することで、紙の使用量を軽減することができます。詳しくは 3-6 ページの**手動両面印刷**をご覧ください。

再生紙

本製品は、環境への負荷の少ない再生紙を使用できます。推奨紙などは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご相談ください。

国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよび ECOSYS は、京セラ株式会社の登録商標です。KPDL は京セラ株式会社の商標です。
- Power PC は IBM 社の米国、その他の国における商標です。
- コンパクトフラッシュはサンディスク社の登録商標です。
- PCL は米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- PostScript は Adobe Systems, Incorporated （アドビシステムズ社）の商標です。
- 本製品はウインドリバーシステムズ社のリアルタイム OS 統合環境 Tornade™ を用いて開発されました。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

IBM プログラムのご使用条件

お客様がご購入された機器には、International Business Machines Corporation (以下 IBM といいます) が所有権を持つ一またはそれ以上の「プログラム」が含まれています。本「IBM プログラムのご使用条件」には、お客様がこれらのプログラムをご使用いただく場合の条件が記載されています。本「IBM プログラムのご使用条件」にご同意いただけない場合、お客様は機器を取得された日から 14 日以内に返却することで代金全額の返金を受けることができます。機器の取得から 14 日以内に当該機器の返却が行われない場合、お客様はこのご使用条件にご同意いただいたものとみなされます。

この「プログラム」は使用許諾されるものであって、売買の対象ではありません。IBM もしくはお客様の国の IBM は、お客様に対して「プログラム」を取得された国内における使用権のみを許諾します。お客様はこの使用条件のもとで認められた権利のみを有します。

「プログラム」とは、プログラムの原本およびその全体または部分的複製物（改変複製物または他のプログラムに組み込まれた部分を含みます。）を意味します。IBM は「プログラム」の著作権を所有しているか、もしくは権原者より使用権を取得しています。

1. 使用権

本使用権の下でお客様は「プログラム」が導入された機器と共に「プログラム」を使用し、また「プログラム」の使用権および機器の所有権を第三者に移転することができます。「プログラム」の使用権を移転する場合、お客様は本「IBM プログラムのご使用条件」およびその他のすべての関連資料を当該第三者に移転しなければなりません。その移転に伴いお客様の使用権は終了します。移転先の第三者は「プログラム」を最初にご使用になったことにより本「IBM プログラムのご使用条件」に同意いただいたものとします。

お客様は、1）この使用条件に明記されている場合を除き、「プログラム」を使用、複製、改変、結合もしくは、移転すること、２）「プログラム」を逆アセンブルもしくは逆コンパイルすること、3）「プログラム」を再使用許諾、賃貸、貸与することはできません。

2. 保証の内容と制限

「プログラム」は現状の状態で提供されます。

この「プログラム」には、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証はありません。国または地域によっては法律の強行規定により、上記の保証の制限が適用されない場合があります。

3. 責任の制限

IBM がこの使用条件で負う全ての責任は以下のものです。

１）本使用権に関する、いかなる形式のいかなる申し立て（契約不履行が含まれます。）に対しても、IBM の賠償責任は実際の直接損害に対してのみ、a) お客様が居住する国の通貨で 25,000 米国ドル相当額、もしくは、b) 当該「プログラム」の IBM 価格のうちの大きい方の金額を限度とする金銭賠償責任に限られます。

この制限は、IBM が法的責任を負うお客様に生じた身体、生命および有体物に対する損害賠償には適用されません。

IBM は、IBM または IBM 認定再販売者の予見の有無を問わず発生した逸失利益、特別損害、付随的損害、間接損害、あるいはその他の拡大損害について責任を負いません。

IBM は第三者からの損害賠償請求に基づくお客様の損害について責任を負いません。

本項の責任の制限は、IBM に「プログラム」を提供した「プログラム」開発者に対する損害賠償請求にも適用されるものとします。お客様は IBM および「プログラム」開発者に対して重複して損害賠償を請求することはできません。ここでの「プログラム」開発者とは、この項で利益を受ける者をいいます。国または地域によっては、法律の強行規定により上記の責任の制限の規定が適用されないことがあります。

4. その他

お客様はいつでも使用権の使用を解除できます。お客様が本ご使用条件に違反した場合には、IBM はこの使用契約を解約できます。この場合、お客様は「プログラム」のすべての複製を破棄、滅却しなければなりません。「プログラム」を使用することで発生するいかなる税金のお支払いもお客様の負担とします。この使用契約に基づく請求権は、請求のいかんにかかわらずその原因が発生した日から 2 年を経過したときに時効により消滅するものとします。お客様が「プログラム」をアメリカ合衆国で取得された場合にはニューヨーク州の法律が適用されます。カナダで取得された場合にはオンタリオ州の法律が適用されます。その他の国で取得された場合には、取得した国の法律が適用されます。

フォントの商標について

- 本機搭載の欧文フォントは、すべて Monotype Imaging inc. からのライセンスを受けています。
- 本製品は Monotype Imaging inc. からの UFST™ MicroType® のフォントを搭載しています。
- Times は Linotype-Hell AG の登録商標です。

Monotype Imaging ライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびに UFST ソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェース」）のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。

3. Monotype Imaging の財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェースへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェースを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェースを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行が Monotype Imaging からの通知後 30 日以内に是正されなかったときは、Monotype Imaging は本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェースの複製物ならびに文書をすべて Monotype Imaging に返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imaging は、引渡し後 90 日間について、本件ソフトウェアが Monotype Imaging の発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するお客様の排他的救済手段および Monotype Imaging の唯一の責任は、欠陥のある部品を Monotype Imaging に返却した時点で修理または交換することです。いかなる場合も Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
9. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
10. お客様は、Monotype Imaging の事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび / またはタイプフェースの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の（b）(3)（ii）項または（c）（1）（ii）項に定められた制限を受けます。さらに、使用、複製または開示は、FAR52. 227-19 （c）（2）項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

使用説明書について

本書は次の章で構成されています。

1　各部の名称

本体各部の名称と、操作パネルのキーとインジケータの名称を説明しています。

2　用紙について

本機で使用できる用紙について説明しています。

3　接続と印刷

PC との接続方法と、印刷の基本操作を説明しています。

4　日常のメンテナンス

トナーコンテナの交換方法と、清掃について説明しています。

5　困ったときは

印刷品質や、紙づまりなどの問題が発生した際の対処方法を説明しています。

6　仕様

本機の主な仕様を説明しています。

付録 A　オプション

本機で使用できるオプションについて説明しています。

付録 B　フォント

本機に搭載されているフォントについて説明しています。

付録 C　環境設定コマンド

プリンタ制御言語である、**プリスクライブ FRPO コマンド**のパラメータについて説明しています。

付属マニュアルの紹介

本機には次の説明書が付属しています。必要に応じてお読みください。

使用説明書（本書）

本機の機能、操作方法など、使用する上で必要な情報を詳しく説明しています。また、紙づまりなどのトラブルへの対処方法も説明しています。

インストールガイド

本機の設置手順と PC との接続を説明しています。

日常のお手入れ

紙づまりの処置やプリンタの清掃について説明しています。

プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル（CD-ROM 収録）

本機のプリンタ制御言語（PDL）である**プリスクライブコマンド**を使用して、印刷するためのプログラミング方法や、各コマンドについて説明しています。

KX プリンタドライバ操作手順書（CD-ROM 収録）

KX **プリンタドライバ**からの印刷や、設定の方法について説明しています。

KM-NET for Clients 操作手順書（CD-ROM 収録）

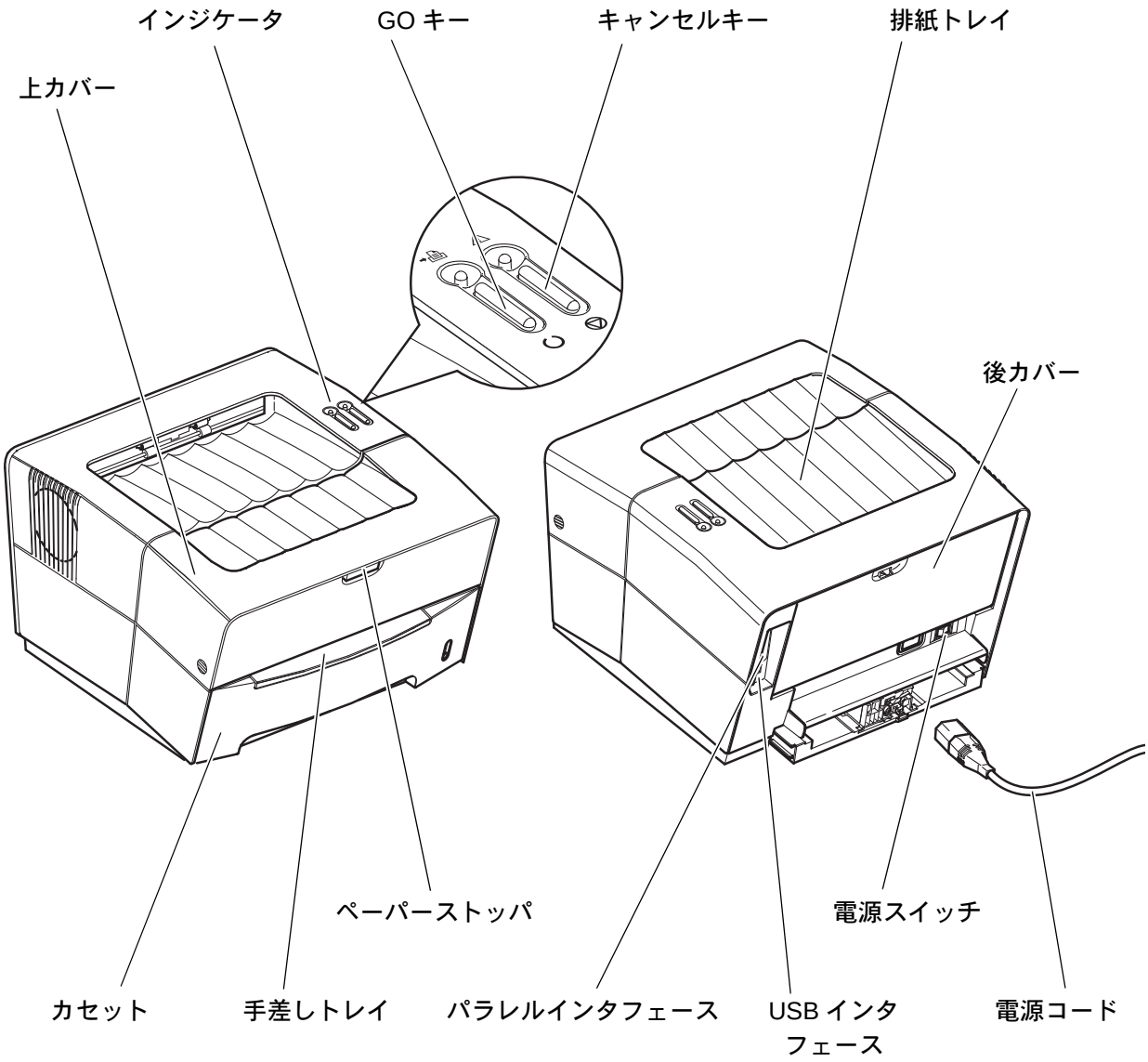
KM-NET for Clients を使用して、PC からプリンタの状態を確認したり、設定を変更したりする方法について説明しています。

本書の読みかた

本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
[太字]	プリンタのキー名称を示します。	[GO] キーを押してください。
太字	製品の名称、ソフトウェアの操作画面上に表示するボタンなどの名称を示します。	・KX **ドライバ操作手順書**を参照してください。 ・OK をクリックてください。
参考	補足説明や操作の参考となる情報です。	**参考**：カセット内には、用紙サイズの表示があります。
重要	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項です。	**重要**：清掃後は、チャージャクリーナつまみを元の位置へ戻してください。

1　各部の名称


インジケータ
GO キー
キャンセルキー
排紙トレイ
上カバー
後カバー
ペーパーストッパ
電源スイッチ
カセット
手差しトレイ
パラレルインタフェース
USB インタフェース
電源コード

インジケータの表示と意味

プリンタの上部右側には、緑色と赤色の 2 つのインジケータがあります。これらのインジケータは、プリンタの状況に応じて点灯、消灯、または点滅表示します。次の表は、インジケータの表示パターンによるプリンタの状態をまとめたものです。

緑色インジケータ（レディ）	赤色インジケータ（アテンション）	プリンタの状態
点灯	消灯	オンライン中です。印刷できます。
点灯	点灯	電源がオンのまま、メモリーカードが抜き差しされました。本機の電源をいったんオフにしてください。
早い点滅	早い点滅	トナー補給中です。 ウォームアップ中です。 データのキャンセル中です。
早い点滅	消灯	オフライン中です。印刷はできません。
早い点滅	点灯	メモリー、メモリーカード、KPDL 関係のエラーが発生しています。［GO］キーを押すとエラーをクリアして印刷を続行します。
遅い点滅	消灯	データ処理中です。
消灯	点灯	上カバーが開いています。 トナーがありません。 現像ユニット、またはドラムユニットが未装着です
消灯	早い点滅	紙づまりが発生しています。
とても遅い点滅	消灯	オートスリープ中です
点灯、点滅、または消灯	遅い点滅	トナーが残りわずかです。 用紙がありません

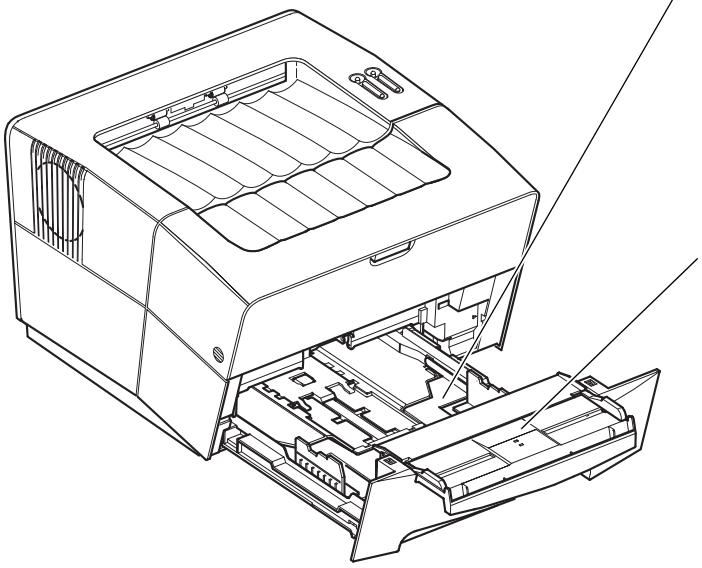
重要：上記の組み合わせ以外のインジケータ表示が発生した場合は、プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。

KM-NET for Clients を使用すると、現在のプリンタの状態が確認できます。KM-NET for Clients については、3-8 ページの KM-NET for Clients を参照してください。

キーの機能

キー	使用状況	操作	機能
GO	レディ時（緑色インジケータ点灯時）	1 回押す	オンラインとオフラインを切り替えます。
		3 秒から 10 秒押し続ける	プリンタの設定状態を表示した、ステータスページを印刷します。
		10 秒以上押し続ける	より詳しいプリンタの設定状態を表示した、サービスステータスページを印刷します。
	エラー発生時	1 回押す	メモリーオーバーフローなどの、特定のエラーを解除して印刷を続けます。
	電源投入時	緑色インジケータが点灯するまで押し続ける	トナーコンテナを交換した後、トナーカウンタをリセットします。
キャンセル		1 回押す	ブザーを止めます。
		1 秒以上押す	実行中の処理を中止します。

2　用紙について



カセット

収容枚数：約 250 枚（80 g/m²）
使用可能用紙サイズ：A4、B5 (JIS)、A5、ISO B5、Oficio II、16K、Folio、Envelope C5、Executive、Letter、Legal および不定形紙（148×210 ～ 216×356mm）

手差しトレイ

1 枚ずつ給紙
使用可能用紙サイズ：A4、B5 (JIS)、A5, A6、B6、Envelope #9、Envelope #6、ISO B5、往復はがき、はがき、Oficio II、16K、Statement、Folio、洋形 2 号、洋形 4 号、Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope DL、Envelope C5、Executive、Letter、Legal、および不定形紙（70×148 ～ 216×356mm）

用紙の基本仕様

次の表は、本機で使用できる用紙の基本的な仕様です。

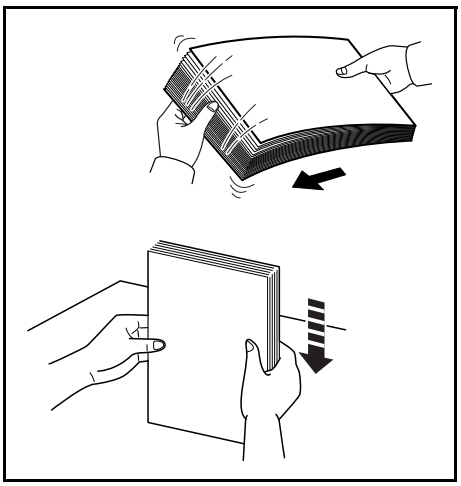
項目	仕様
重さ	カセット：60 ～ 105 g/m² 手差しトレイ： 60 ～ 163 g/m²
厚さ	0.086 ～ 0.110mm
寸法	±0.7 mm
四隅の角度	90° ±0.2°
保水度	4% ～ 6%
繊維の方向	縦目（給紙方向）
パルプ含有率	80% 以上

参考：使用できる用紙のサイズや種類について、詳しくは 6-1 ページの**仕様**を参照してください。

用紙の収容

カセットや手差しトレイに用紙をセットする際は、図のように用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよく揃えてください。

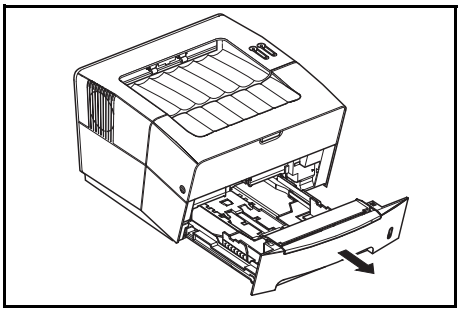
用紙に反りがある場合は、まっすぐに直してからカセットにセットしてください。そのまま印刷を行うと紙づまりの原因になります。



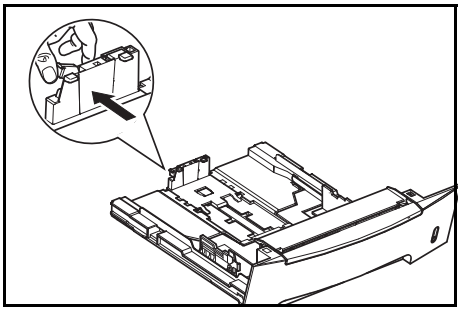
カセット

1 カセットを引き出してください。

参考：プリンタからカセットを引き出す際に落とさないように注意してください。

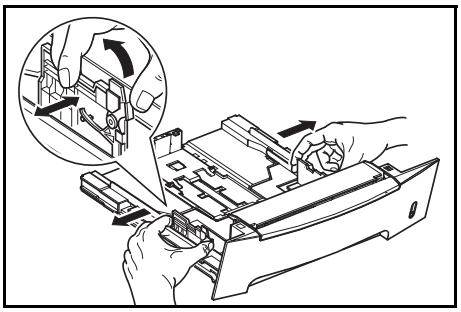


2 つまみを押し上げながら、縦ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。

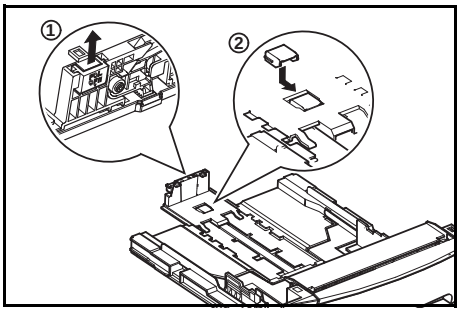


3 カセットの左右にある横ガイドの位置を調節します。左側の横ガイドにあるつまみを押し上げながら、両手で左右の横ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせます。

参考：カセット内には用紙サイズの表示があります。

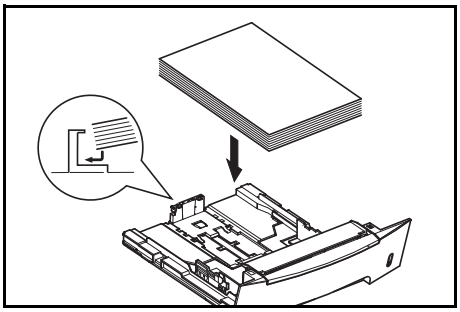


Folio や Oficio II の用紙サイズに印刷する場合は、縦ガイドを所定の位置に移動した後、緑色のガイドストッパ①を図のように取り付けてください②。その後、縦ガイドを止まるまで後ろ側へ引いてください。



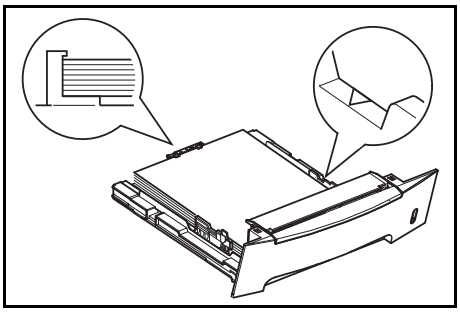
4 印刷する面を下側にして用紙をカセットへ入れてください。

重要：横ガイドと縦ガイドは、紙づまりを避けるために正しく設定してください。

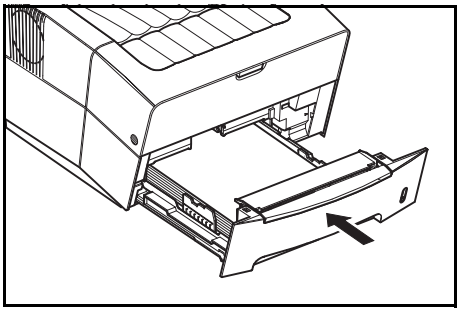


用紙は横ガイド上の上限表示（△）を超えないようにセットしてください。

セットした用紙に折れやカール、破れがないか確認してください。



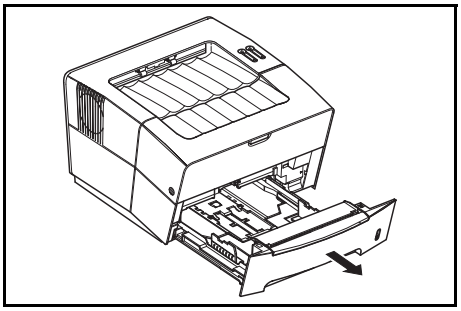
5 カセットを奥まで確実に押し込んでください。



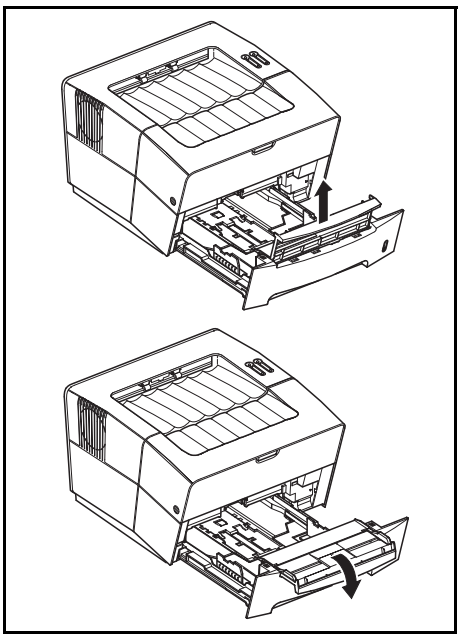
手差しトレイ

手差しトレイに用紙をセットすると、カセットを選択している場合も優先して手差しトレイから給紙します。

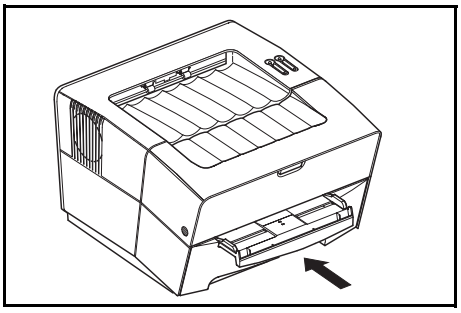
1 手差しトレイを引き出すために、いったんカセットを引き出してください。



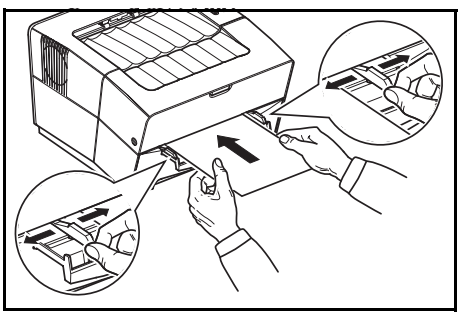
2 手差しトレイを引き出してください。



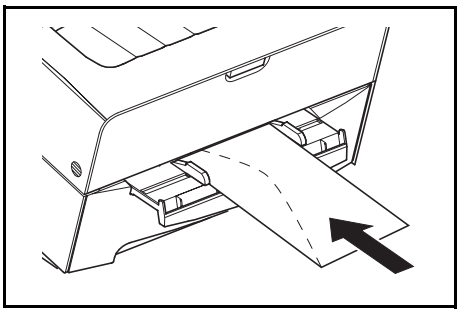
3 カセットを奥まで確実に押し込んでください。



4 用紙ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせてください。印刷面を上側にして、用紙ガイドに水平になるように給紙してください。



封筒は印刷面を上側にして、右側を先にセットしてください。開封口がプリンタ側にならないようにしてください



重要：手差しトレイからは、1 枚ずつ手をそえて印刷してください。

参考：封筒を購入する前に、その封筒での印刷が満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

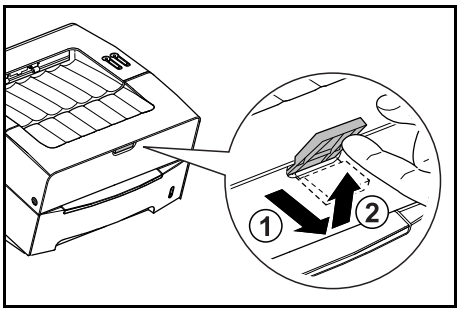
手差しトレイに封筒をセットして印刷を開始してください。

5 使用後手差しトレイを収納する際は、用紙ガイドを外側の位置にしてから収納してください。

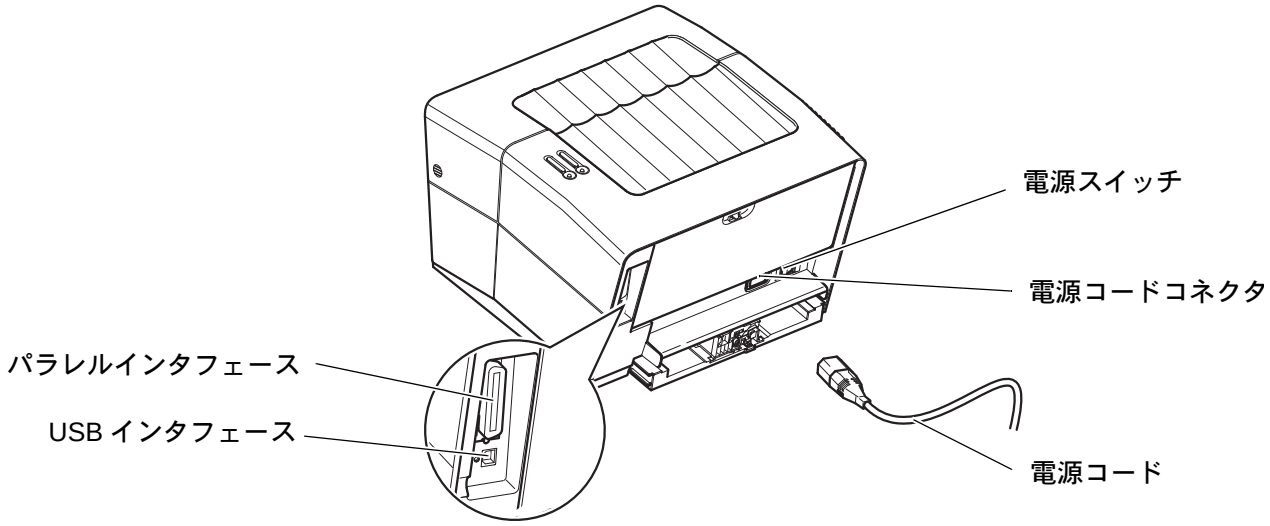
参考：使用できる用紙のサイズや種類について、詳しくは 6-1 ページの**仕様**を参照してください。

用紙ストッパ

印刷する際は、印刷した用紙が落ちないよう、用紙ストッパを図のように引き出してください。



3　接続と印刷

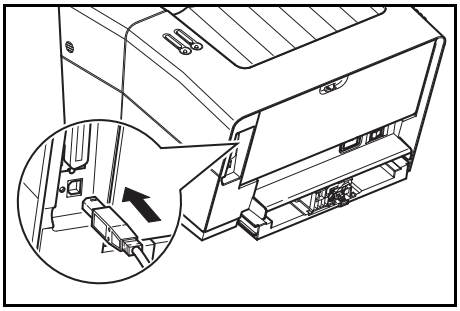


PC との接続

本機後面には、パラレルインタフェースと USB インタフェースがあります。本章では本機と PC との接続について説明します。

USB インタフェース

1 USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースに接続してください。（USB ケーブルは別売です。）

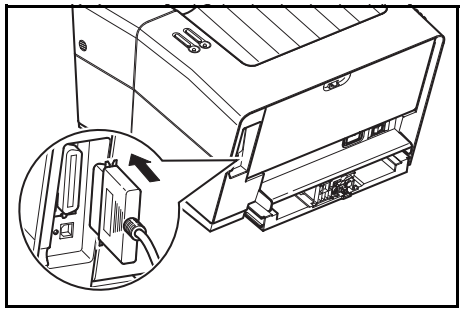


重要：USB ケーブルは、長方形型のタイプ A のプラグ（PC 側）と、正方形型のタイプ B（プリンタ側）のプラグを備えたケーブルを使用してください。また、5m 以下のシールドされているケーブルを使用してください。

2 USB ケーブルの一方を、PC の USB インタフェースへ接続してください。

パラレルインタフェース

1 パラレルケーブルをプリンタのパラレルインタフェースに接続してください。（パラレルケーブルは別売です。）



重要：パラレルケーブルは、IEEE1284 規格に準拠したケーブルを使用してください。また 3m 以下の、シールドされているケーブルを使用してください。

2 パラレルインタフェース両端のクリップではさみ、固定してください。

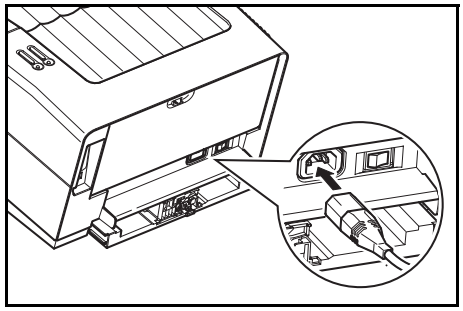
3 パラレルケーブルの一方を、PC のパラレルインタフェースへ接続してください。

電源コード

電源はプリンタが無理なく接続ができる、近くのコンセントにつないでください。延長コードを使用しなければならない場合には、合計の長さは 5m 以下にしてください。

重要：プリンタの電源スイッチがオフであることを確認してください。また、電源コードは本機に付属しているものを使用してください。

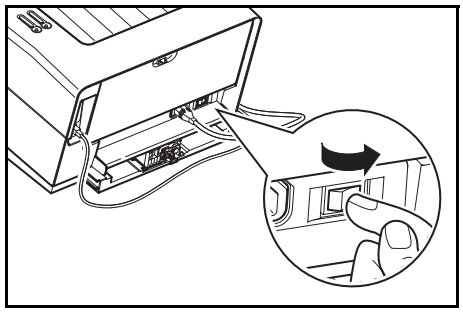
1 プリンタ後面の電源コードコネクタに、電源コードを接続してください。



2 電源コードの一方をコンセントへ接続してください。

3 プリンタの電源スイッチを押して（|）、プリンタの電源を入れてください。

プリンタはウォームアップを始めます。



参考：トナーコンテナを装着してプリンタの電源をオンにすると、プリンタの 2 つのインジケータが点滅を始めます。購入後トナーコンテナを初めてプリンタに装着して初めて電源をオンにした際は、印刷できる状態になるまで約 15 分間（トナー補給中）かかります。緑色インジケータ（レディ）が点灯すれば、印刷準備は完了です。

ソフトウェアのインストール

印刷を行うには、付属の CD-ROM に収録されているプリンタドライバを、接続した PC へインストールする必要があります。また、PC からプリンタの状態をモニタできる KM-NET for Clients が CD-ROM に収録されています。本項では、これらのソフトウェアのインストールの手順について説明します。ソフトウェアをインストールする前に、プリンタと PC が正しく接続されているか確認してください。

プリンタドライバ

プリンタドライバは、アプリケーションで作成したデータを印刷するために必要です。使用方法については、CD-ROM 収録の **KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

USB インタフェース接続の場合

1 PC の電源を入れ、Windows を起動してください。

2 付属の CD-ROM（Software Library）を、PC の光学ドライブへセットします。

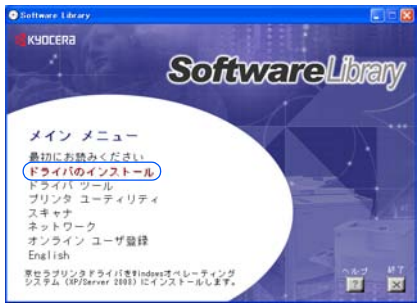


しばらくすると、**使用許諾**画面が表示されます。**使用許諾を表示**をクリックして内容を確認したあと、**同意する**をクリックします。**メインメニュー**が表示されます。

CD-ROM を入れても**使用許諾**画面が表示されない場合は、Windows のエクスプローラから CD-ROM のルートディレクトリを開き、Setup.exe をダブルクリックしてください。

3 プラグアンドプレイによって、**新しいハードウェアの検索**ウィザードの画面が表示された場合は、**キャンセル**をクリックしてください。

4 **ドライバのインストール**をクリックし、画面の表示にしたがってプリンタドライバのインストールを行ってください。

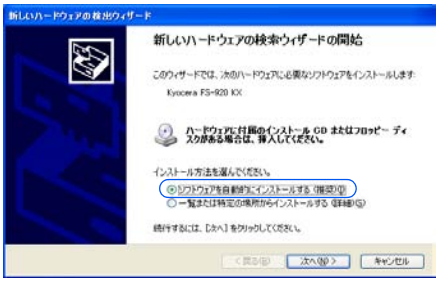


パラレルインタフェース接続の場合

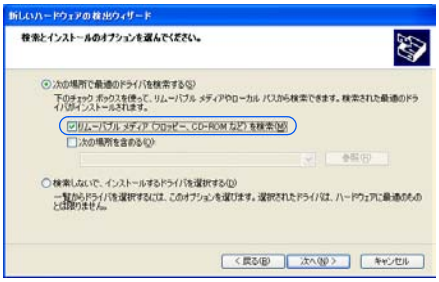
1 PC の電源を入れ、Windows を起動してください。

2 付属の CD-ROM（Software Library）を、PC の光学ドライブへセットします。CD-ROM のメニュー画面が表示されますが、**終了**を押してこの画面は閉じてください。

3 プラグアンドプレイによって、**新しいハードウェアの検索**ウィザードが表示されます。**ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）**を選び、**次へ**をクリックしてください。



4 **次の場所で最適のドライバを検索する**を選び、**リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索**にチェックマーク（✓）を入れて、**次へ**をクリックしてください。



5 OS ごとにプリンタドライバのリストが表示されますので、次のようにプリンタドライバを選択して**次へ**をクリックしてください。

Windows 98/Me を使用している場合：
drivers_j\kxdriver\win9x_me\oemsetup.inf

Windows 2000/XP を使用している場合：
drivers_j\kxdriver\win2x_xp\oemsetup.inf



6 表示されるウィザードの画面にしたがって、インストールを行ってください。

印刷のしかた

本節では、アプリケーションソフトからの基本的な印刷手順について説明します。次の画面は印刷する際の印刷設定画面の例です。それぞれのタブで行える設定を簡単に説明しています。プリンタドライバの詳しい操作や設定については、付属の CD-ROM（Document Library）に収録されている KX **プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

レイアウト
手動両面印刷、1 枚の用紙への複数ページ印刷、拡大 / 縮小などの設定を行えます。

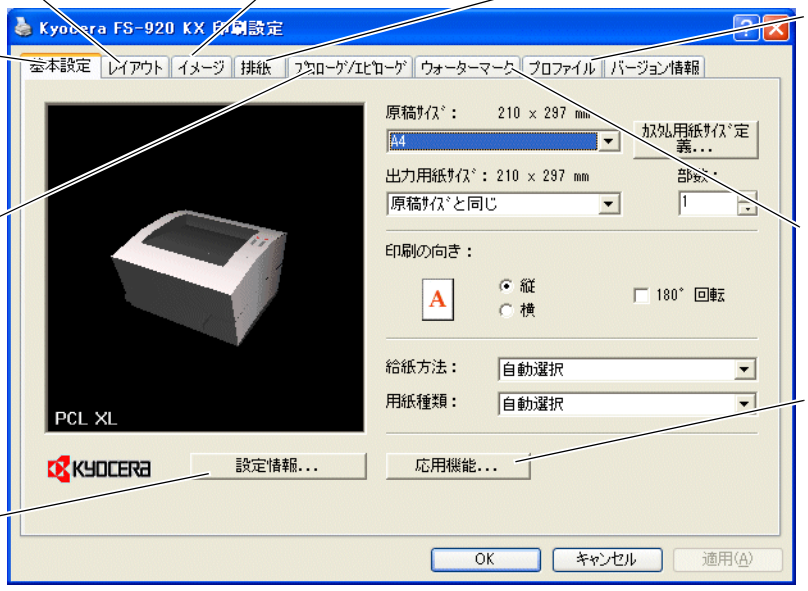
イメージ
解像度や印刷濃度の設定、TrueType フォント、グラフィックの設定を行います。

排紙
印刷枚数や、部単位印刷を行うか設定します。

基本設定
用紙のサイズや向きの設定と、給紙元を選択します。

プロローグ / エピローグ
プリスクライブコマンドを文書中に埋め込みます。マクロなどの設定を行ったり、外字やオーバーレイなどの機能を実現できます。

設定情報
プリンタドライバからの設定状態が確認できます。



プロファイル
プリンタドライバから行った設定を保存しておくことにより、再度設定することなくその設定を呼び出せます。

ウォーターマーク
文書の背景に任意の文字列をウォーターマーク（すかし）として印刷します。

応用機能
印刷時に表紙や裏表紙を追加したり、ページを挿入したりできます。また OHP シートへの印刷時に合紙を差し込むことができます。

基本的な印刷のしかた

1 アプリケーションで作成した文書の用紙サイズ（A4 など）と同じサイズの用紙を、プリンタのカセットに入れます。

2 アプリケーションの**ファイル**メニューから**印刷**を選択してください。**印刷**ダイアログが表示されます。

3 **プリンタ名**のドロップダウンリストを開くと、現在インストールされているすべてのプリンタが表示されますので、その中から Kyocera FS-920 KX を選択します。

4 2 部以上印刷する場合は印刷したい部数を入力し、**部単位で印刷**にチェックマーク（✓）をつけると丁合されて出力されます。

5 OK をクリックすると印刷を開始します。

手動両面印刷

本機はプリンタドライバからの設定で、手動により両面印刷を行えます。最初に偶数ページだけを印刷し、その用紙を表裏逆にしてカセットに戻して、次に奇数ページの印刷を行います。偶数ページを印刷する際に、用紙のセット方向が印刷されたインストラクションシートが同時に印刷されますので、その説明にしたがって正しく用紙をセットできます。

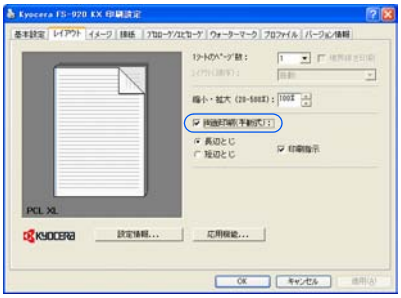
参考：インストラクションシートは、プリンタドライバの**印刷指示**チェックボックスにチェックマーク（✓）が入っている場合に印刷されます。用紙のセット方向を誤らないためにも、チェックマークは外さないことをお勧めします。

1 給紙元に**カセット 1** を選択します。



2 **レイアウト**タブを選択し、**両面印刷（手動式）**のチェックマーク（✓）を入れて、**長辺とじ**または**短辺とじ**を選択します。

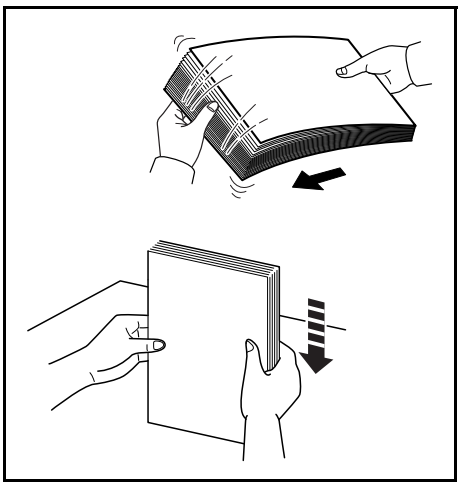
応用機能をクリックすると、とじしろの設定を行えます（5.00 ～ 25.4mm）。



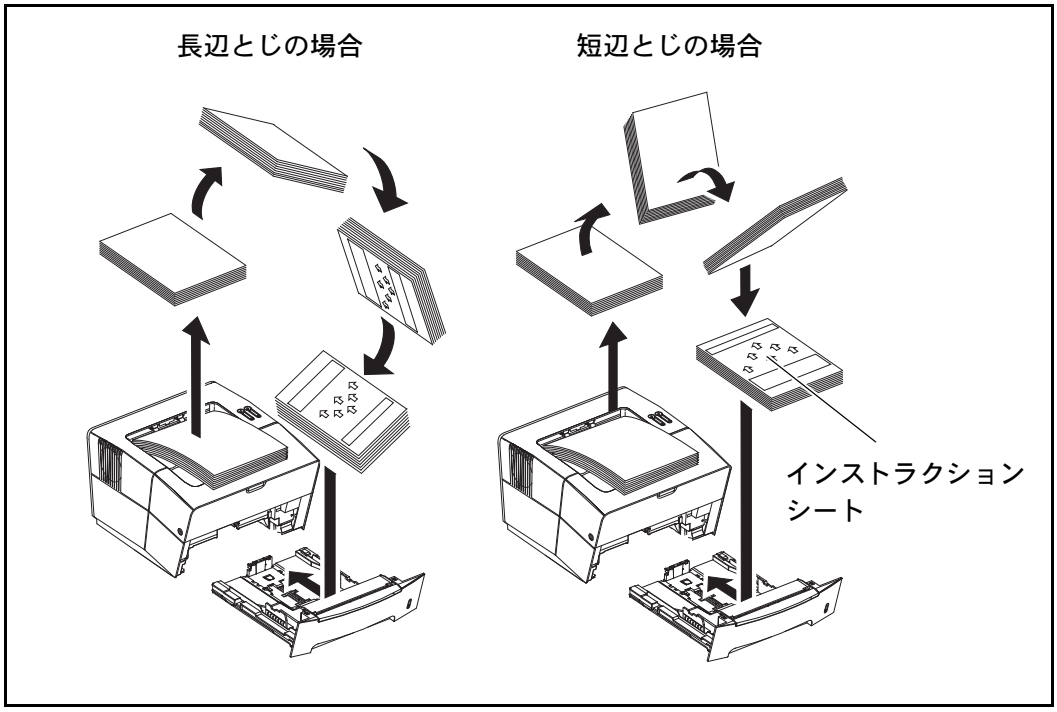
3 OK をクリックすると**印刷設定**ダイアログに戻りますので、さらに OK をクリックすると偶数ページの印刷を開始します。

しばらくすると、PC に**手動両面**ダイアログが表示されますが、すべての遇数ページが印刷されるまで、OK はクリックしないでください。

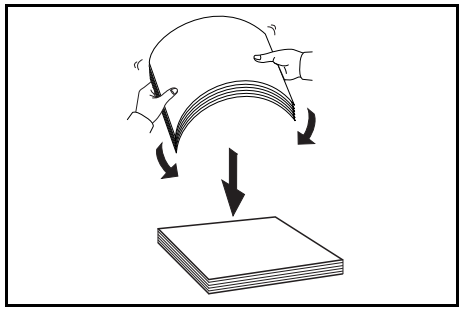
4 印刷されたすべての偶数ページと、インストラクションシートをいったん取り出してください。取り出した用紙は、さばいて端を揃えてください。



5 インストラクションシートを最上面にして、矢印表示が奥側を指すようにしてすべての用紙をカセットにセットしてください。インストラクションシートの裏面には印刷されません。



用紙がカールしている場合は、カールをよく延ばしてからカセットにセットしてください。



重要：片面印刷した用紙のカールが大きい場合は、反対方向に丸めてカールを打ち消してください。用紙のカールを十分に打ち消せない場合は、カセットにセットする枚数を 100 枚以下にしてください。

6 PC に表示された**手動両面**ダイアログの OK をクリックしてください。奇数ページの印刷が始まります。



KM-NET for Clients

KM-NET for Clients は、プリンタに現在設定されている内容の確認や、変更操作を PC から行えます。また紙づまりなどのエラーが発生した際に、詳しい情報を PC に表示できます。操作方法については、CD-ROM 収録の KM-NET for Clients **操作手順書**を参照してください。

1 付属の CD-ROM（Software Library）を、PC の光学ドライブへセットします。CD-ROM の**使用許諾**画面が表示されます。**使用許諾**画面が表示されない場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある、Setup.exe をダブルクリックしてください。

2 **使用許諾を表示**をクリックして表示内容を確認したあと、**同意する**をクリックします。**メインメニュー**が表示されます。

3 **プリンタユーティリティ**をクリックします。**プリンタユーティリティメニュー**が表示されます。

4 KM-NET for Clients をクリックします。インストールウィザードが起動するので、画面の表示にしたがってインストールを行ってください。

Macintosh へのプリンタドライバのインストール

本機を Macintosh に接続して使用する場合は、次の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

1 本機と Macintosh の電源を入れてください。

2 付属の CD-ROM（Software Library）を、Machintosh の光学ドライブへセットします。

3 CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

4 使用している OS のバージョンにあわせて、OS 10.2 and Later または OS 9.x and Earlier をダブルクリックしてください。

5 Kyocera OS X Japanese xx.x または Kyocera Japanese xx.x をダブルクリックしてください。プリンタドライバのインストールプログラムが起動します。

6 インストールプログラムの表示にしたがって、プリンタドライバをインストールしてください。

4　日常のメンテナンス

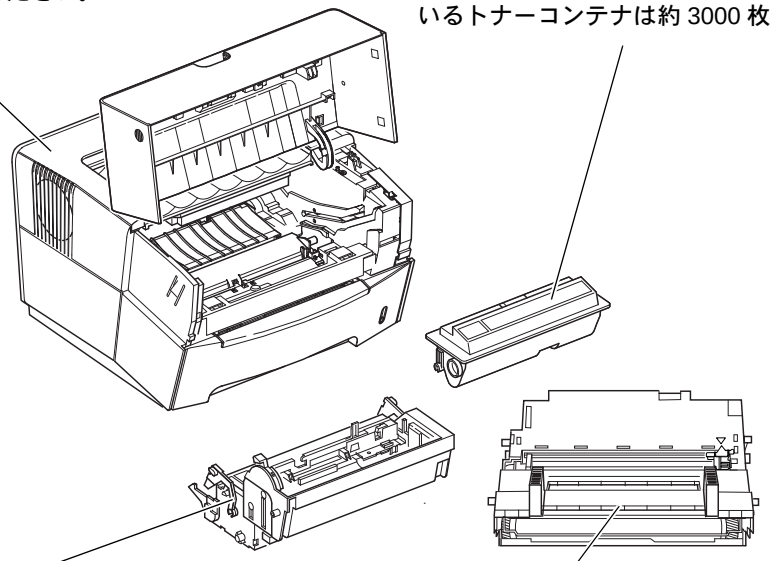
本章では、トナーコンテナの交換と本機内部の清掃について説明します。本機のメンテナンスの対象は次の内容です。詳しくは次ページからの説明を参照してください。

プリンタ内部の清掃

主にトナーコンテナの交換時に、トナーキットに付属している清掃用布で、プリンタ内のほこりや汚れを取り除いてください。また、最良の印刷品質を保つために、定期的（月に一度程度）に本機の清掃を行ってください。

トナーコンテナの交換

トナーコンテナは、約 6000 枚印刷するごとに交換する必要があります。なお、本機に付属しているトナーコンテナは約 3000 枚印刷できます。



現像ユニット

プリンタ内部を清掃する際は、現像ユニットをプリンタから取り出します。

ドラムユニットのチャージャワイヤの清掃

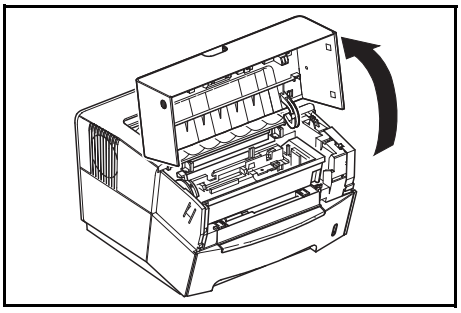
ドラムユニットは、トナーコンテナ交換時などの清掃時に取り出し、内部のチャージャワイヤを清掃する必要があります。

トナーコンテナ

トナーコンテナの交換は、次の手順にしたがって行ってください。

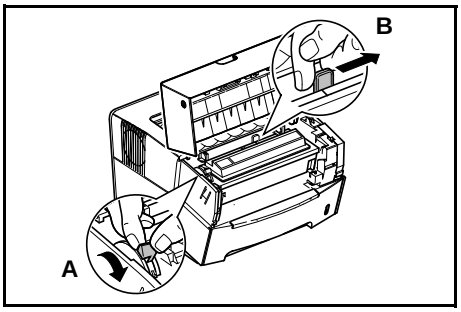
注意：トナーコンテナは火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。また、無理に開けたり壊したりしないでください。

1 上カバーを開けてください。

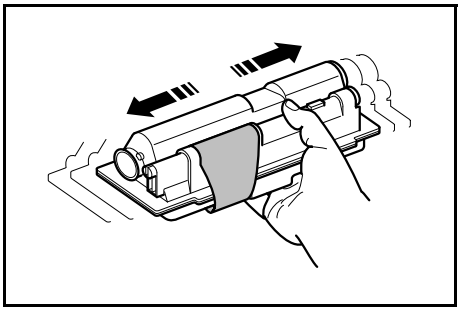


2 ロックレバー A を矢印の方向（解除位置）にし、次にロックレバー B を矢印の方向（解除側）に引いて、トナーコンテナを取り外してください。

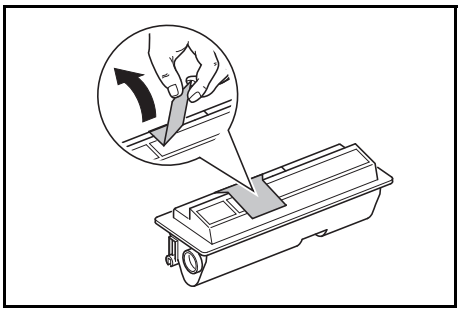
古いトナーコンテナはトナーが飛散しないように、新しいトナーキットに付属している廃棄用ポリ袋に密封して処理してください。



3 トナーキットから新しいトナーコンテナを取り出し、内部のトナーが均一になるように、水平方向に 5、6 回振ってください。

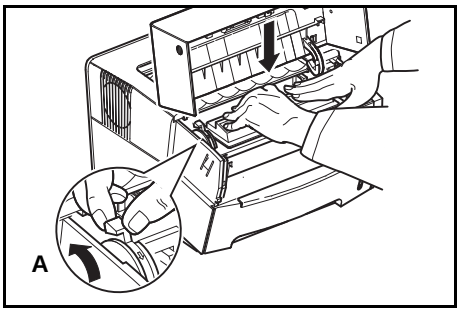


4 オレンジ色の保護シールを取り除いてください。



5 新しいトナーコンテナをプリンタに装着してください。トナーコンテナ上部の PUSH HERE の部分を、手応えがあるまで押し込んで確実に装着してください。

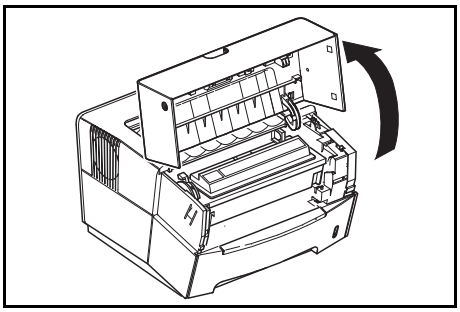
ロックレバー A を押して、ロック位置にしてください。



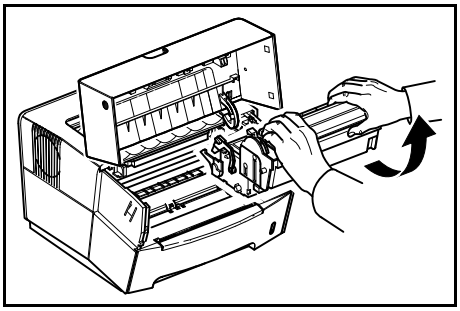
プリンタの清掃

最良の印刷品質を保つために、トナーコンテナ交換時はプリンタ内部の清掃を行ってください。

1 上カバーを開けてください。

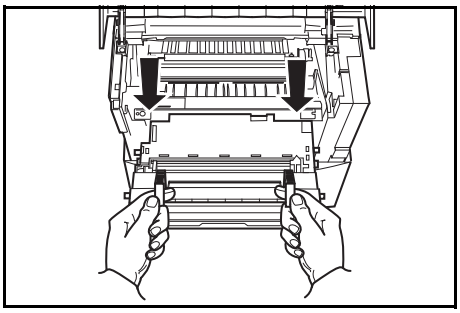


2 トナーコンテナと一緒に、現像ユニットをプリンタから取り出します。

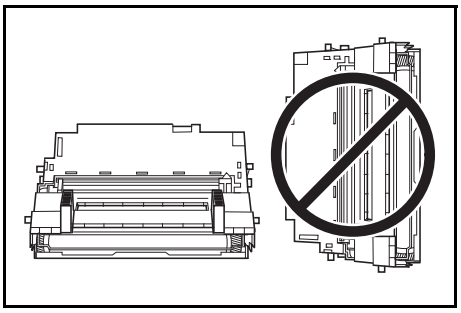


3 緑色の取っ手を両手で持ち、ドラムユニットを取り外します。

重要：ドラム部分に手を触れたり、衝撃を与えたりしないでください。また、直射日光や強い光にさらすと印刷品質が劣化します。

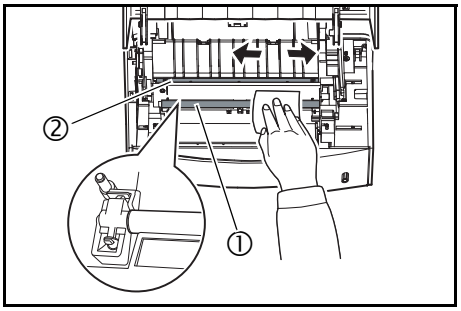


4 取り出したドラムユニットを一時的に別の場所に置く場合は、汚れのない水平な場所に置いてください。



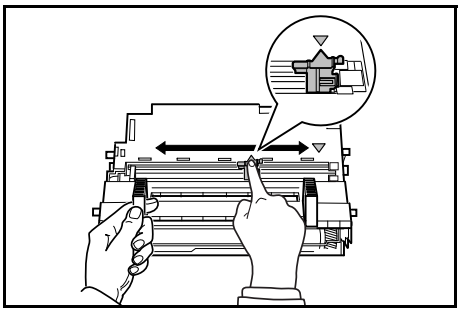
重要：ドラムユニットは立てて置かないでください。

5 トナーキットに付属の清掃用布で、レジストローラ（金属）部に付着している紙粉や汚れを拭き取ってください ①。



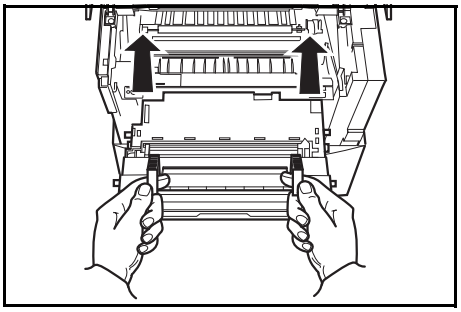
重要：清掃中は、黒色の転写ローラに ② 触れないようご注意ください。印刷品質が低下する原因になります。

6 ドラムユニット上側のチャージャクリーナつまみ（緑色）を、図のように 2、3 回左右にスライドさせてください。

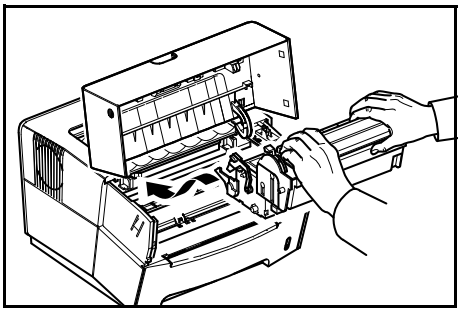


重要：清掃後は、チャージャクリーナつまみを元の位置へ戻してください。

7 清掃が完了したら、取り外したドラムユニットをプリンタの左右のガイドに合わせてプリンタに戻します。



8 現像ユニットをプリンタへ戻して、上カバーを閉じてください。



5　困ったときは

一般的な問題

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。本機に何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に次のチェックを行ってみてください。

現象	確認事項	処置
印刷できない。	インジケータの表示パターンを確認し、1-2 ページの**インジケータの表示と意味**の表に照らし合わせてください。	エラーが特定できたら、必要な処置を行ってください。 1-2 ページの**インジケータの表示と意味**の表にない表示パターンの場合は、一度電源スイッチを入れなおしてみてください。
	ステータスページが印刷できるか確認してください。	ステータスページが印刷できる場合は、コンピュータとの接続に問題がある可能性があります。3-1 ページの **PC との接続**を参照して接続を確認してください。ステータスページの印刷方法については、1-2 ページの**キーの機能**を参照してください。
印刷の品質が悪い。		5-2 ページの**印刷品質の問題**を参照してください。
用紙がつまった。		5-2 ページの**紙づまりの処置**を参照してください。
電源を入れても、インジケータは消灯したままで、ファンの回る音もしない。	電源コードを確認してください。	電源を一度オフにし、電源コードを確実に差し込み、もう一度電源をオンにしてください。
	電源スイッチがオン（｜）の位置になっているか確認してください。	電源スイッチをオン（｜）の位置にしてください。
ステータスページは正常に印刷するが、PC からのデータが正常に印刷されない。	接続しているケーブルを確認してください。	接続しているケーブルを両端とも確実に接続してください。ケーブルを別のものと交換してみてください。

さらに、次の点を確認してください。

- プリンタに接続しているコンピュータを再起動してください。
- 最新バージョンの **KX プリンタドライバ**を使用してください。**KX プリンタドライバ**の最新バージョンは、京セラミタ株式会社のホームページからダウンロードできます。http://www.kyoceramita.co.jp/download/

以上のチェックを行ってみても、問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

印刷品質の問題

次の表では印刷品質の問題が発生した場合の、それぞれの処置について説明します。ここで説明する処置を行っても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。

印刷の状態	処置
全体が真っ黒になる。	お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。
白抜けや黒点や横線が印刷される。	チャージャワイヤを清掃してください。詳しくは 4-3 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。
白や黒の縦線が入る。	トナーコンテナを確認してください。トナーが残り少ない場合はトナーコンテナを交換してください。
	チャージャワイヤを清掃してください。詳しくは 4-3 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。
	現像ユニットのチャージャクリーナが正しい位置にあるか確認してください。詳しくは 4-3 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。
画像が薄い、またはぼやける。	トナーコンテナを確認してください。トナーが残り少ない場合はトナーコンテナを交換してください。
	チャージャワイヤを清掃してください。詳しくは 4-3 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。
背景が灰色になる。	トナーコンテナを確認してください。トナーが残り少ない場合はトナーコンテナを交換してください。
	現像ユニットとドラムユニットが、正しく装着されているか確認してください。ドラムユニットの装着については、4-3 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。
用紙の先端や裏側が汚れる。	レジストローラがトナーなどで汚れている場合は、汚れを拭き取ってください。詳しくは 4-3 ページの**プリンタの清掃**を参照してください。

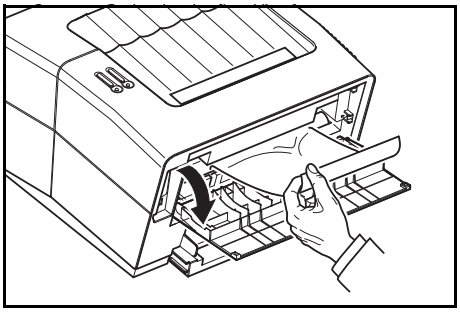
紙づまりの処置

ここでは、用紙がプリンタ内につまった場合の、用紙の取り除きかたを説明します。用紙がプリンタ内でつまった場合はプリンタは停止します。プリンタはオフラインになり、赤色インジケータ（アテンション）が点滅します。

紙づまりがしばしば起こる場合は用紙の仕様が合っていない可能性がありますので、種類を変えてみてください。用紙の仕様については、2-1 ページの**用紙の基本仕様**で詳しく説明しています。用紙を変えて試してみても、紙づまりがしばしば起こる場合は、プリンタに何らかの問題がある場合が考えられます。お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

排紙トレイと後カバー

1 用紙が完全に排紙されずに途中で止まってしまった場合は、後カバーを開き、つまった用紙を引き出して取り除いてください。

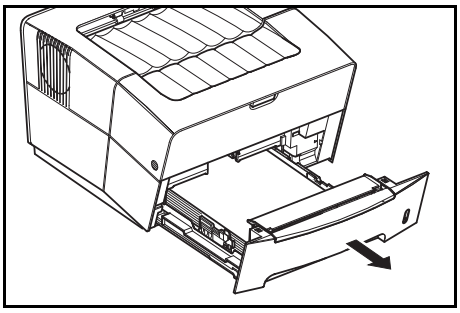


注意：本体内部は高温になっています。火傷のおそれがありますのでご注意ください。

2 プリンタの上カバーを開閉するとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

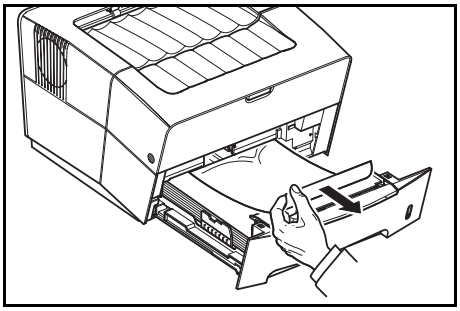
カセット

1 カセットをプリンタから引き出してください。



2 つまっている用紙を取り除いてください。

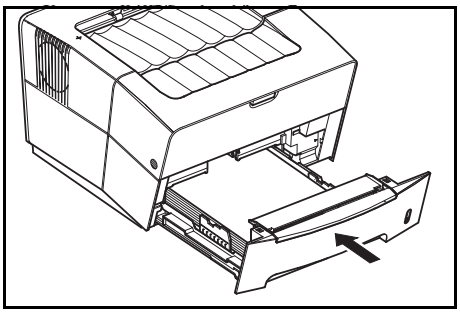
用紙が正しくセットされていない場合は、セットしなおしてください。



重要：途中まで給紙された状態でつまった用紙は、無理に引き抜かないでください。その場合は 5-5 ページの**プリンタ内部**を参照してください。

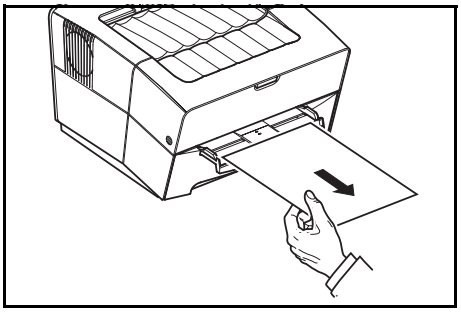
3 カセットを奥まで押し込んで戻してください。

プリンタの上カバーを開閉するとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。



手差しトレイ

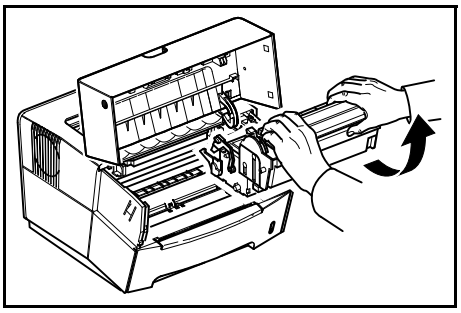
1 手差しトレイにつまった用紙を取り除いてください。



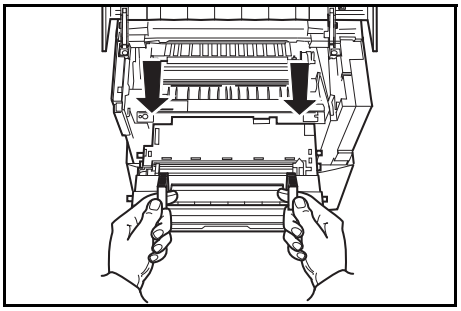
プリンタの上カバーを開閉するとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

重要：途中まで給紙された状態でつまった用紙は、無理に引き抜かないでください。その場合は次の手順からを参照してください。

2 上カバーを開け、トナーコンテナと一緒に現像ユニットをプリンタから取り出します。

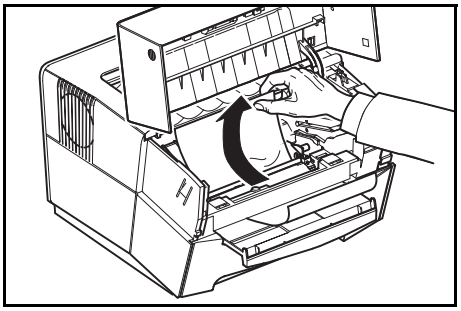


3 緑色の取っ手を両手で持ち、ドラムユニットを取り外します。

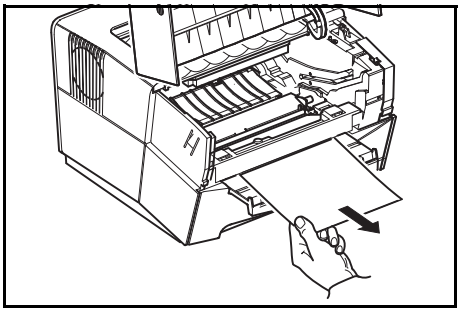


重要：ドラム部分に手を触れたり、衝撃を与えたりしないでください。また、直射日光や強い光にさらすと印刷品質が劣化します。

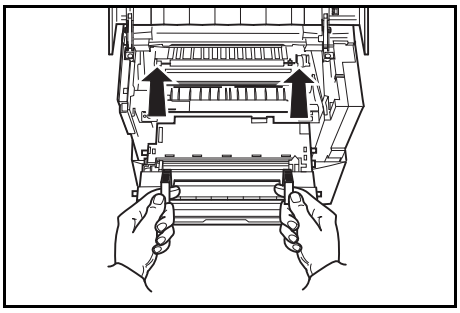
4 つまった用紙がレジストローラ（金属）に挟まれている場合は、用紙が送られる方向に用紙を引き出してください。



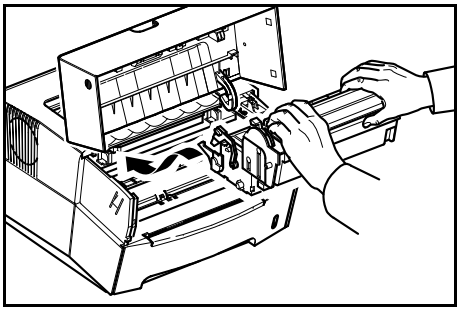
つまった用紙がレジストローラまで達していない場合は、手前方向につまった用紙を取り除いてください。



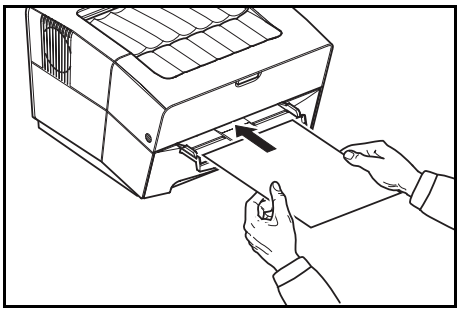
5 つまった用紙を取り除いたら、取り外したドラムユニットをプリンタに装着します。



6 現像ユニットをプリンタへ戻して、上カバーを閉じてください。

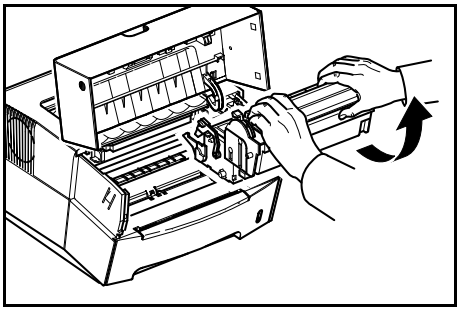


7 手差しトレイに用紙をセットしなおしてください。ウォーミングアップ後に印刷を再開します。



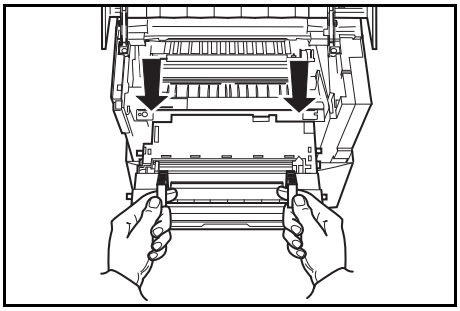
プリンタ内部

1 上カバーを開け、トナーコンテナと一緒に現像ユニットをプリンタから取り出します。

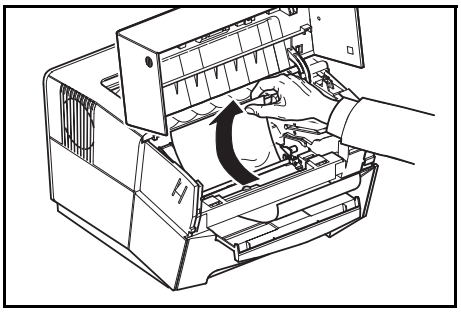


2 緑色の取っ手を両手で持ち、ドラムユニットを取り外します。

重要：ドラム部分に手を触れたり、衝撃を与えたりしないでください。また、直射日光や強い光にさらすと印刷品質が劣化します。

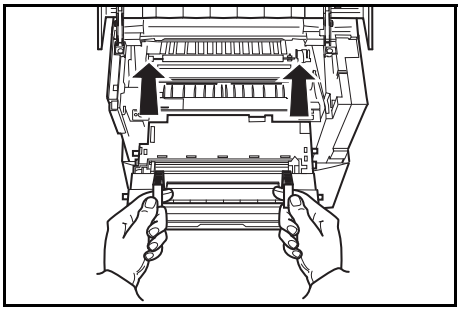


3 プリンタから、つまった用紙を取り除いてください。

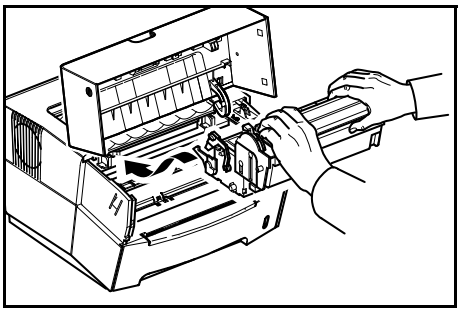


重要：つまった用紙がレジストローラ（金属）に挟まれている場合は、用紙が送られる方向に用紙を引き出してください。

4 つまった用紙を取り除いたら、取り外したドラムユニットをプリンタに装着します。



5 現像ユニットをプリンタへ戻して、上カバーを閉じてください。プリンタは、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。



6　仕様

重要：本機の仕様は改良などのために予告なしに変更することがあります。

項目	仕様
印刷方式	半導体レーザ + ポリゴンミラー走査
印刷速度	A4：18 枚 / 分
用紙サイズ	
カセット	A4、B5 (JIS)、A5、ISO B5、Oficio II、16K、Folio、Envelope C5、Executive、Letter、Legal および不定形紙（148×210 ～ 216×356mm）
手差しトレイ	A4、B5 (JIS)、A5, A6、B6、Envelope #9、Envelope #6、ISO B5、往復はがき、はがき、Oficio II、16K、Statement、Folio、洋形 2 号、洋形 4 号、Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope DL、Envelope C5、Executive、Letter、Legal、および不定形紙（70×148 ～ 216×356mm）
用紙種類	
カセット	普通紙、プレプリント、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、上質紙（60 ～ 105g/m^2）
手差しトレイ	普通紙、OHP フィルム、プレプリント、ラベル紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、はがき、厚紙、上質紙（60 ～ 163g/m^2）
用紙容量	
カセット	250 枚（80g/m^2）
手差しトレイ	1 枚（80g/m^2）
排紙トレイ容量	100 枚
ウォームアップ時間（23 ℃）	16 秒以下（電源オン時）、12 秒以下（スリープ時）
ファーストプリント（23 ℃）	11 秒以下
解像度	Fast 1200 モード（1800×600dpi）/600 dpi（600×600dpi）
標準印刷枚数 / 最大許容印刷枚数	2,000 枚 / 月、15,000 枚 / 月
CPU	PowerPC 405 (266MHz)
メインメモリー	32MB（最大 288MB）
インタフェース	
USB	1（Full-Speed）
パラレル	1（IEEE 1284）準拠
設置環境	
温度	10 ～ 32.5 ℃
湿度	20 ～ 80 %RH（結露なきこと）
海抜	2,000m 以下
照度	1,500lux 以下

仕様

項目	仕様
消費電力	
最大消費電力	845W
通常使用時	328W
待機時	6W
スリープ時	4W
電源オフ時	0W
外形寸法	幅 380× 高さ 245× 奥行き 390mm
質量	9.2kg
稼動音 ISO7779 に準拠（バイスタンド位置、正面音圧レベル）	プリント時：49dB (A) 待機時：28dB (A) スリープ時：測定限界以下

付録 A　オプション

本章では、本機に装着できるオプションについて説明します。各オプションの入手方法などについては、京セラミタジャパン株式会社正規特約店または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

拡張メモリー（DIMM）

本機のメイン基板上にはメモリー増設のための空きスロットが用意されています。オプションの拡張メモリーを装着することで、最大 288MB までメモリーを拡張できます。メモリーを増設するとより複雑なデータの印刷が可能になります。装着方法については次ページの図を参照してください。

メモリーカード（CF カード）

本機のメイン基板上にメモリーカード用のスロットが用意されています。メモリーカードにはオプションフォント、マクロ、フォームなどを書き込めます。フォントをメモリーカードにダウンロードする場合は、ICLink （本機付属の CD-ROM に収録のユーティリティ）を使用します。

重要：拡張メモリーとメモリーカードの装着は、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお申し付けください。電話番号は最終ページを参照してください。お客様自身が装着を行って起きた破損、障害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

拡張メモリーとメモリーカードの装着

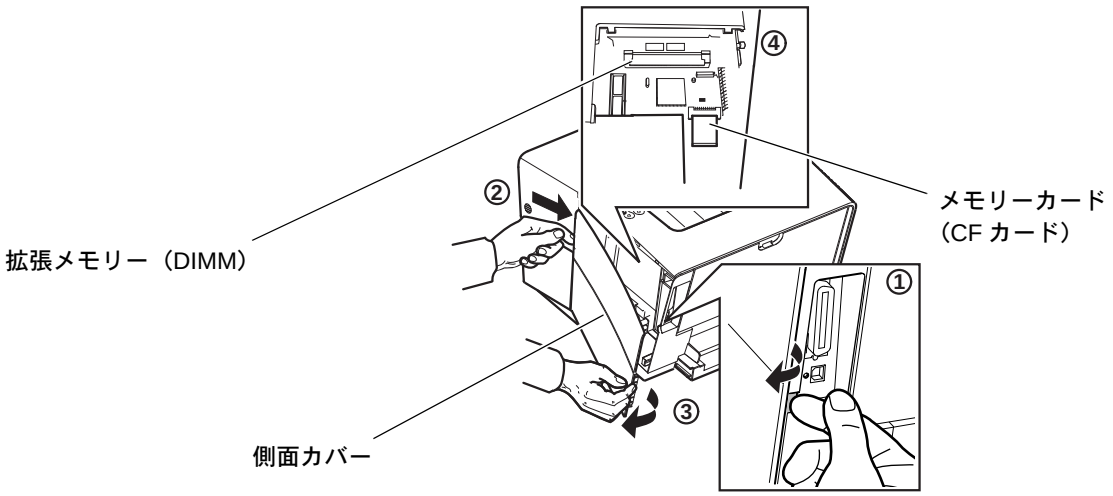
拡張メモリーとメモリーカードは、次の手順で装着してください。

1 拡張メモリーやメモリーカードを装着する際はプリンタの電源を切り、電源コードとプリンタに接続しているケーブルをすべて取り外してください。

2 側面カバーの後ろ側の凹部分①を、後ろ方向へ引きながら矢印方向に開いてください。

3 側面カバーを、両手で②後ろ方向にスライドさせながら取り外してください③。

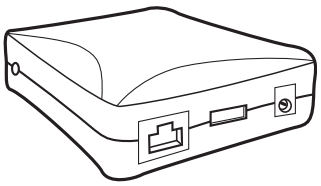
4 拡張メモリーおよびメモリーカードの装着を行ってください④。装着後は逆の手順で側面カバーをプリンタへ装着してください。



プリントサーバ（IB-100）

IB-100 は本機の USB インタフェースに装着することによって、Windows や UNIX、Macintosh などの各種プラットフォームによる、ネットワーク環境を実現します。各種設定についても付属ユーティリティによって容易に行えます。

使用方法については、IB-100 付属の説明書を参照してください。



プリントサーバ　IB-100

付録 B　フォント

本機に搭載されているフォントについて解説します。フォントとは特定のデザインの文字のセットで、スケーラブルあるいはビットマップの別、シンボルセット、間隔、ピッチ、高さ、スタイル、ストローク、および書体などの属性を持っています。詳しくは CD-ROM に収録されている、**プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル**を参照してください。

内蔵フォント

次の表は、本機の内蔵フォントのリストです。本機は PCL/KPDL3（PostScript 3 互換）の欧文スケーラブルフォント 80 書体と、欧文ビットマップフォント 1 書体を内蔵しています。フォントはオプションのメモリーカードから、プリンタのメモリーにダウンロードすることもできます。

PCL フォント

This is a sample of Courier font.

This is a sample of CGTimes font.

This is a sample of CGTimes-Bd font.

This is a sample of CGTimes-It font.

This is a sample of CGTimes-BdIt font.

This is a sample of CGOmega font.

This is a sample of CGOmega-Bd font.

This is a sample of CGOmega-It font.

This is a sample of CGOmega-BdIt font.

This is a sample of Coronet font.

This is a sample of Clarendon-Cd font.

This is a sample of Univers-Md font.

This is a sample of Univers-Bd font.

This is a sample of Univers-MdIt font.

This is a sample of Univers-BdIt font.

This is a sample of Univers-MdCd font.

This is a sample of Univers-BdCd font.

This is a sample of Univers-MdCdIt font.

This is a sample of Univers-BdCdIt font.

This is a sample of AntiqueOlive font.

This is a sample of AntiqueOlive-Bd font.

This is a sample of AntiqueOlive-It font.

This is a sample of GaramondAntiqua font.

This is a sample of Garamond-Hlb font.

This is a sample of Garamond-Krsv font.

This is a sample of Garamond-HlbKrsv font.

This is a sample of Marigold font.

This is a sample of Albertus-Md font.

This is a sample of Albertus-ExBd font.

This is a sample of Arial font.

This is a sample of Arial-Bd font.

This is a sample of Arial-It font.

This is a sample of Arial-BdIt font.

This is a sample of TimesNewRoman font.

This is a sample of TimesNewRoman-Bd font.

This is a sample of TimesNewRoman-It font.

This is a sample of TimesNewRoman-BdIt font.

This is a sample of Helvetica font.

This is a sample of Helvetica-Bd font.

This is a sample of Helvetica-Ob font.

This is a sample of Helvetica-BdOb font.

This is a sample of Helvetica-Nr font.

This is a sample of Helvetica-NrBd font.

This is a sample of Helvetica-NrOb font.

This is a sample of Helvetica-NrBdOb font.

This is a sample of Palatino font.

This is a sample of Palatino-Bd font.

This is a sample of Palatino-It font.

This is a sample of Palatino-BdIt font.

This is a sample of ITCAvantGardeGothic-Bk font.

This is a sample of ITCAvantGardeGothic-Dm font.

This is a sample of ITCAvantGardeGothic-BkOb font.

This is a sample of ITCAvantGardeGothic-DmOb font.

This is a sample of ITCBookman-Lt font.

This is a sample of ITCBookman-Dm font.

This is a sample of ITCBookman-LtIt font.

This is a sample of ITCBookman-DmIt font.

This is a sample of NewCenturySchoolbook-Rom font.

This is a sample of NewCenturySchoolbook-Bd font.

This is a sample of NewCenturySchoolbook-It font.

This is a sample of NewCenturySchoolbook-BdIt font.

This is a sample of Times-Rom font.

This is a sample of Times-Bd font.

This is a sample of Times-It font.

This is a sample of Times-BdIt font.

This is a sample of ITCZapfChancery-MdIt font.

Τηισ ισ α σαμπλε οφ Σψμβολ φοντ. (Symbol)

Τηισ ισ α σαμπλε οφ ΣψμβολΠΣ φοντ. (SymbolPS)

❄♒♓♦ ♓♦ ♋ ♦♋❍❑●♏ ❑♐ ♇♓■♑♎♓■♑♦ ♐❑■♦ (Wingdings)

✶❊❉▲ ❉▲ ❁ ▲❁❍❒●❋ ❑❄ ☆✶✣✺❁❒❄✤❉■❋✪❁▼▲ ❄❑ (ITCZapfDingbats)

This is a sample of Courier-Bd font.

This is a sample of Courier-It font.

This is a sample of Courier-BdIt font.

This is a sample of LetterGothic font.

This is a sample of LetterGothic-Bd font.

This is a sample of LetterGothic-It font.

This is a sample of CourierPS font.

This is a sample of CourierPS-Bd font.

This is a sample of CourierPS-Ob font.

This is a sample of CourierPS-BdOb font.

This is a sample of LinePrinterBM8.5-Roman font.（ビットマップフォント）

KPDL フォント

This is a sample of Albertus-ExtraBold font.
This is a sample of Albertus-Medium font.
This is a sample of AntiqueOlive font.
This is a sample of AntiqueOlive-Bold font.
This is a sample of AntiqueOlive-Italic font.
This is a sample of Arial font.
This is a sample of Arial-Bold font.
This is a sample of Arial-BoldItalic font.
This is a sample of Arial-Italic font.
This is a sample of AvantGarde-Book font.
This is a sample of AvantGarde-BookOblique font.
This is a sample of AvantGarde-Demi font.
This is a sample of AvantGarde-DemiOblique font.
This is a sample of Bookman-Demi font.
This is a sample of Bookman-DemiItalic font.
This is a sample of Bookman-Light font.
This is a sample of Bookman-LightItalic font.
This is a sample of CGOmega font.
This is a sample of CGOmega-Bold font.
This is a sample of CGOmega-BoldItalic font.
This is a sample of CGOmega-Italic font.
This is a sample of CGTimes font.
This is a sample of CGTimes-Bold font.
This is a sample of CGTimes-BoldItalic font.
This is a sample of CGTimes-Italic font.
This is a sample of Clarendon-Condensed-Bold font.
This is a sample of Coronet font.
This is a sample of Courier font.
This is a sample of Courier-Bold font.
This is a sample of Courier-BoldOblique font.
This is a sample of Courier-Oblique font.
This is a sample of CourierPCL font.
This is a sample of CourierPCL-Bd font.
This is a sample of CourierPCL-BoldItalic font.
This is a sample of CourierPCL-Italic font.
This is a sample of Garamond-Antiqua font.
This is a sample of Garamond-Halbfett font.
This is a sample of Garamond-Kursiv font.
This is a sample of Garamond-KursivHalbfett font.

This is a sample of Helvetica font.
This is a sample of Helvetica-Bold font.
This is a sample of Helvetica-BoldOblique font.
This is a sample of Helvetica-Narrow font.
This is a sample of Helvetica-Narrow-Bold font.
This is a sample of Helvetica-Narrow-BoldOblique font.
This is a sample of Helvetica-Narrow-Oblique font.
This is a sample of Helvetica-Oblique font.
This is a sample of LetterGothic font.
This is a sample of LetterGothic-Bold font.
This is a sample of LetterGothic-Italic font.
This is a sample of Marigold font.
This is a sample of NewCenturySchlbk-Bold font.
This is a sample of NewCenturySchlbk-BoldItalic font.
This is a sample of NewCenturySchlbk-Italic font.
This is a sample of NewCenturySchlbk-Roman font.
This is a sample of Palatino-Bold font.
This is a sample of Palatino-BoldItalic font.
This is a sample of Palatino-Italic font.
This is a sample of Palatino-Roman font.
Τηισ ισ α σαμπλε οφ Σψμβολ φοντ. (Symbol)
Τηισ ισ α σαμπλε οφ ΣψμβολΠΧΛ φοντ. (Symbol MT)
This is a sample of Times-Bold font.
This is a sample of Times-BoldItalic font.
This is a sample of Times-Italic font.
This is a sample of Times-Roman font.
This is a sample of TimesNewRoman font.
This is a sample of TimesNewRoman-Bold font.
This is a sample of TimesNewRoman-BoldItalic font.
This is a sample of TimesNewRoman-Italic font.
This is a sample of Univers-Bold font.
This is a sample of Univers-BoldItalic font.
This is a sample of Univers-Condensed-Bold font.
This is a sample of Univers-Condensed-BoldItalic font.
This is a sample of Univers-Condensed-Medium font.
This is a sample of Univers-Condensed-MediumItalic font.
This is a sample of Univers-Medium font.
This is a sample of Univers-MediumItalic font.
❄♒♓♦ ♓♦ ♋ ♦♋❍❑●♏ ❑♐ ⌖♓■♑♎♓■♑♦🖆☼♏♑◆ (Wingdings-Regular)
This is a sample of ZapfChancery-MediumItalic font.
✶❊❄▲ ❄▲ ❁ ▲❁❍❒●❄ ❑❄ ✺❁❒❄✤❄■✳✪❁▼▲ ❄❑■▼✎ (ZapfDingbats)

付録 C　環境設定コマンド

プリンタは、印刷設定に関する各種の情報を内部メモリーに記憶しています。これらの情報は京セラのプリンタ制御言語である、**プリスクライブ** FRPO コマンドによって登録と変更が行え、電源投入時のプリンタの初期状態として設定されます。本章では FRPO コマンドと、そのパラメータについてを説明します。

環境設定コマンドの設定

プリンタの現在の FRPO パラメータの設定値は、サービスステータスページで確認できます。サービスステータスページの印刷方法については、1-2 ページの**キーの機能**を参照してください。

参考：FRPO パラメータを変更する前に、サービスステータスページを印刷しておくことをおすすめします。なお、FRPO INIT コマンドですべての FRPO パラメータを、プリンタの初期状態にもどすこともできます。（`!R! FRPO INIT; EXIT;`）

FRPO コマンドは以下の書式で実行します。

`!R! FRPO` パラメータ , 設定値 ; `EXIT;`

例－エミュレーションを KPDL に設定

```
!R! FRPO P1, 9; EXIT;
```

インタフェース独立 FRPO パラメータ

*1: エミュレーションによっては無視されます。
*2: 設定後はプリンタの電源を一度切るか、リセット後に有効です。

項目	FRPO	設定値	工場設定
上マージン	A1	インチ単位の整数部分	0
	A2	1/100 インチ単位の小数部分	0
左マージン	A3	インチ単位の整数部分	0
	A4	1/100 インチ単位の小数部分	0
ページの長さ	A5	インチ単位の整数部分	13
	A6	1/100 インチ単位の小数部分	61
ページの幅	A7	インチ単位の整数部分	13
	A8	1/100 インチ単位の小数部分	61
ページ方向	C1	0: 縦置き（ポートレート） 1: 横置き（ランドスケープ）	0
起動フォント *1	C2	起動フォント番号の中 2 桁	00
	C3	起動フォント番号の最後 2 桁	00
	C5	起動フォント番号の最初の 2 桁	00
PCL フォント選択範囲	C8	0: 全内部フォントを選択対象とする 1: ビットマップフォントを対象外とする	0
インタフェース・タイムアウト	J2	5 秒単位	6（30 秒）
パラレルインタフェース・モード *2	O0	0: 標準モード 1: 高速モード 5: ニブル（高速）モード 70: 自動（ネゴシエーション）モード	70
パラレルライン制御 *2	O2	0: ライン制御オフ 2: HP LaserJet 互換	2
エミュレーションモード	P1	0: Line printer 1: IBM Proprinter X24E 2: Diablo 630 5: Epson LQ-850 6: PCL 9: KPDL	6
キャリッジリターンの処理 *1	P2	0: 無視 1: CR 2: CR+LF	1
改行の処理 *1	P3	0: 無視 1: LF 2: CR+LF	1
KPDL 自動切替え	P4	0: なし 1: 自動切替え	1 0（パラレル）
KPDL 自動切替えエミュレーション	P5	P1 と同じ（9 を除く）	6

項目	FRPO	設定値	工場設定
AES オプション 1 自動エミュレーション切替え（AES）が起動するページ排出コマンドおよび処理動作	P7	AES 起動後、KPDL または代替エミュレーションのどちらにも該当しないデータは KPDL で処理 0: すべてのページ排出コマンド 1: なし 2: すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブ EXIT コマンド 3: プリスクライブ EXIT コマンドのみ 4:^L コマンドのみ 6: プリスクライブ EXIT コマンドおよび ^L コマンド AES 起動後、KPDL または代替エミュレーションのどちらにも該当しないデータは代替エミュレーションで処理 10:KPDL 印刷データ以外では、自動切替先エミュレーションで印刷処理	10
AES オプション 2・プリスクライブ !R! コマンド受信後のエミュレーション	P8	0: 現在のエミュレーション 1: 初期設定エミュレーション（P1 に変更） 2: 代替エミュレーション（P5）に変更	2
行間隔 *1	U0	インチあたりの行数 / 整数部分	6
行間隔 *1	U1	インチあたりの行数 / 小数部分	0
文字間隔 *1	U2	インチあたりの文字数 / 整数部分	10
文字間隔 *1	U3	インチあたりの文字数 / 小数部分	0
シンボルセット値	U6	シンボルセット値の下 2 桁	41
	U7	シンボルセット値の上 2 桁 （シンボルセット値 =U7-50 × 100+U6）	53
固定フォントピッチ	U8	整数部分 (cpi.): 0 ～ 99	10
	U9	1/100 単位の小数部分 (cpl.): 0 ～ 99	0
初期 ANK アウトラインフォント・サイズ *1	V0	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの整数 上位 2 桁 / 設定有効範囲値：00 ～ 09	00
	V1	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの整数 下位 2 桁 / 設定有効範囲値：00 ～ 99	12
	V2	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの小数 2 桁 設定有効値：00, 25, 50, 75	00
初期 ANK アウトラインフォント名 *1	V3	起動時の ANK アウトラインフォント名	Courier

インタフェース共有 FRPO パラメータ

*1: エミュレーションによっては無視されます。
*2: 設定後はプリンタの電源を一度切るか、リセット後に有効です。

項目	FRPO	設定値	工場設定
パターンの解像度	B8	0: 300 dpi 1: N8 と同じ	0
印刷枚数の設定	C0	1 ～ 999	1
警告ブザー設定	D2	0: オフ 1: オン	0
バッファしきい値 *2	H6	0 ～ 99 受信データバッファ・サイズのパーセント	90
バッファ限界値 *2	H7	0 ～ 99 受信データバッファ・サイズのパーセント	70
受信データバッファ容量 *2	H8	0 ～ 99 単位は 10 K バイト（0: 5 K バイト）	5
タイム・アウトの時間	H9	0 ～ 99　5 秒単位（0: オフ）	6
メモリーカードの起動パーティション登録	I0	パーティション名（最大 15 文字）	－
ステータス送信制御	M1	0: なし 1: ステータスを送信	0
起動時のインタフェース *2	M2	2: パラレルインタフェース 5: USB	2
バッファサイズ・オプション *2	M3	0: 自動 1: バッファサイズを指定（固定） 各インタフェースのバッファサイズは M4/M5/M8 のバッファ比率として指定	1
バッファサイズ比率 (1) *2	M4	第 1 バッファの比率	1
バッファサイズ比率 (2) *2	M5	第 2 バッファの比率	5
バッファサイズ比率 (3) *2	M8	第 3 バッファの比率	5
KIR の設定	N0	0: オフ 2: オン	2
スリープタイマ時間	N5	0 ～ 48　5 分単位（0 ～ 240 分 [0: オフ]）	1（5 分）
エコプリントの設定	N6	0: オフ 2: オン	0
システム解像度	N8	0: 300 dpi 1: 600 dpi	1
PCL リソース保護 *2	N9	0: オフ 1: パーマネントリソースを保護して環境をリセット 2: パーマネント / テンポラリ・リソースを保護	1
コマンド認識文字	P9	33 ～ 126 の ASCII コード	82（R）

項目	FRPO	設定値	工場設定
用紙サイズ	R2	0: カセットのサイズ（R4 参照） 1: Envelope Monarch 2: Envelope #10 3: Envelope DL 4: Envelope C5 5: Executive 6: Letter 7: Legal 8: A4 9: JIS B5 13: A5 14: A6 15: JIS B6 16: Envelope #9 17: Envelope #6 18: ISO B5 19: 不定形紙 31: はがき 32: 往復はがき 33: Oficio II 40: 16K 50: Statement 51: Folio 52: 洋形 2 号（封筒） 53: 洋形 4 号（封筒）	0
ページ保護モード	R5	1: 自動 4: オン	1
手差しトレイの用紙サイズ	R7	0: 最大用紙サイズ / その他は R2 と同じ	8
ディジーホイール・データビット（Diablo 630 エミュレーション時）	R8	7: 7 ビット 8: 8 ビット	7
ホストバッファサイズ積算値	S5	0: 10 KB 1: 100 KB 2: 1 MB	1
RAM ディスクサイズ	S6	1 ～ 99 単位は MB	50
RAM ディスクモード	S7	0: オフ 1: オン	0
カセットの用紙サイズ	T1	6: Letter 7: Legal 8: ISO A4 9: JIS B5 13: ISO A5 19: カスタム（不定形サイズ）	8
ワイド A4 モード（10 pt ピッチ、78 字 / 行）	T6	0: オフ 1: オン	0
起動時のステータスページの印刷	U5	0: 印刷しない 1: 印刷する	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
クーリエおよびレターゴシックのフォントタイプ選択 *2	V9	0: クーリエ＝ダーク レターゴシック＝ダーク 1: クーリエ＝レギュラー レターゴシック＝ダーク 4: クーリエ＝ダーク レターゴシック＝レギュラー 5: クーリエ＝レギュラー レターゴシック＝レギュラー	5
カセット選択モード（PCL）	X9	0: 用紙種類の設定によってカセットを切替え 1: カセットの用紙サイズによって自動的にカセットを切り替え	0
エラー時の自動継続印刷（［GO］キーを押して解除するエラーのみ）	Y0	0: オフ 1: オン	0
自動継続印刷時のエラー解除時間	Y1	0 ～ 995 秒単位	6（30 秒）
レディ時ヒーターオン / オフ制御	Y2	0: オフ 1: オン	0

索引

C
CD-ROM
Document Library 3-5
Software Library 3-3, 3-4, 3-8
使用許諾画面 3-3, 3-8
メインメニュー 3-3, 3-8

K
KM-NET for Clients 1-2

い
一般的な問題 5-1
印刷できない 5-1
印刷品質が悪い 5-1
用紙づまり 5-1
印刷品質の問題
薄い、ぼやける 5-2
白抜け、黒点が入る 5-2
背景が灰色になる 5-2
真っ黒になる 5-2
用紙が汚れる 5-2
縦線が入る 5-2
インジケータ 1-2
赤色インジケータ 1-2
アテンション 1-2
ウォームアップ中 1-2
オートスリープ中 1-2
オフライン中 1-2
オンライン中 1-2
データ処理中 1-2
データのキャンセル中 1-2
トナー補給中 1-2, 3-2
表示と意味 1-2
緑色インジケータ 1-2, 3-2
レディ 1-2
インタフェース共有 FRPO パラメータ C-4
インタフェース独立 FRPO パラメータ C-2

お
オプション
拡張メモリー A-1
拡張メモリーの装着 A-2
プリントサーバ（IB-100）A-2
メモリーカード A-1
メモリーカードの装着 A-2

か
各部の名称 1-1
カセット
ガイドストッパ 2-3
収容枚数 2-1
縦ガイド 2-2
不定形紙 2-1
横ガイド 2-2
上限表示 2-3
紙づまりの処置
後カバー 5-3
カセット 5-3
手差しトレイ 5-4
排紙トレイ 5-3
プリンタ内部 5-5
環境設定コマンド
FRPO パラメータ C-1
インタフェース共有 FRPO パラメータ C-4
インタフェース独立 FRPO パラメータ C-2
エミュレーション C-2, C-4
設定 C-1
サービスステータスページ C-1
初期状態 C-1

き
キー 1-2
GO 1-2
機能 1-2
キャンセル 1-2

こ
困ったときは 5-1
一般的な問題 5-1
印刷品質の問題 5-2
紙づまりの処置 5-2

さ
サービスステータスページ 1-2

し
仕様 6-1

す
ステータスページ 1-2

せ
接続と印刷 3-1
PC との接続 3-1
USB インタフェース 3-1
USB ケーブル 3-1
印刷設定画面 3-5
印刷のしかた 3-5
基本的な印刷 3-5
手動両面印刷 3-6
電源コード 3-2
パラレルインタフェース 3-2
パラレルケーブル 3-2
設置
設置環境 v
電源 vi

そ
ソフトウェア
KM-NET for Clients 3-3, 3-8
インストール 3-3
プリンタドライバ 3-3

ち
注意ラベル iv

て
手差しトレイ 2-1
収納 2-5
使用可能用紙サイズ 2-1
封筒 2-5
不定形紙 2-1
用紙ガイド 2-4

と
トナーカウンタ 1-2
トナーコンテナ引き取り回収依頼書 ix
ドラムユニット
チャージャクリーナつまみ 4-4

ふ
フォント
KPDL3 B-1
PCL B-1
スケーラブル B-1
内蔵フォント B-1
ビットマップ B-1
フォントリスト B-2
プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル B-1
ブザー 1-2
付属マニュアル xiv
プリスクライブコマンド C-1
プリンタドライバ
Macintosh 3-8
KX プリンタドライバ操作手順書 3-3, 3-5
USB インタフェース 3-3
インストラクションシート 3-6
パラレルインタフェース 3-4
手動両面ダイアログ 3-6
手動両面印刷 3-6
短辺とじ 3-6
長辺とじ 3-6

ほ
補修用性能部品 ix

め
メモリーオーバーフロー 1-2
メンテナンス
現像ユニット 4-3
清掃 4-1
清掃用布 4-4
転写ローラ 4-4
トナーコンテナの交換 4-1, 4-2
ドラムユニット 4-3
廃棄用ポリ袋 4-2
レジストローラ 4-4
ロックレバー 4-2

よ
用紙
カール 3-7
基本仕様 2-1
収容 2-2
収容枚数 2-1
用紙ストッパ 2-5

り
両面印刷
インストラクションシート 3-6
カール 3-7
手動両面印刷 ix
手動両面ダイアログ 3-6

QUALITY CERTIFICATE

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。

お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社
京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-9-15
http://www.kyoceramita.co.jp

お客様相談窓口
市内通話料金でOK ナビダイヤル
0570-046562
受付時間
● 9:00～17:00
（但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く）
市内通話料金でご利用いただけます。

©2005 京セラミタ株式会社
KYOCERA は京セラ株式会社の登録商標です。

Revision 1.2 2008.3